

野上邦栄先生 最終講義

都立大・首都大
に育てられて 40 年

平成 28 年 3 月 4 日

首都大学東京 南大沢キャンパス
11 号館 204 教室

40年の教育・研究に思う

40年間の大学における教育・研究生活は、充実した、日々知識を得る有意義なものであり、人間的にも成長させていただきました。都立大そして首都大には本当に感謝、感謝であります。

大学の恩師である山本一之教授(故人)には、トラス格点部の力学的挙動に関して東大で学位を取られたばかりのエネルギーで卒論はじめ、構造力学、我が国の構造分野、土木分野全体の動向などについてご指導いただきました。1975年4月から東京都立大助手に採用されたのも、山本先生からの都立大で助手を探しているとの紹介がきっかけであります。当時、都立大の伊藤文人教授(故人)と山本先生は本四公団の委員会で一緒だったため、この話があったようです。それ以来、あっとゆう間に40年が過ぎてしまった感があります。

教育における担当科目は、毎年学生にわかりやすく、理解を深めてもらい、さらに得られた知識とそれらを応用できる、解決できる能力を養う講義を目指してきたつもりですが、奥が深く、私にとって教育は永遠の研究テーマです。ある私立大学における非常勤講師のための説明資料に、アメリカの作家で、大学で教鞭と取っていた教育者が次のように述べていることが記述されていました。

凡庸な教師は、ただ話す。

良い教師は、説明する。

優れた教師は、自らやってみせる。

偉大な教師は、学びの心に火をつける。

いかにして学生の心に火をつけるか、大きな課題であり、私自身何人の学生の心に火をつけられたのだろうか？

伊藤先生には、大学の教育・研究、学会活動などに関して、劣等生の自分を一からご指導いただき、研究者の姿勢を先生の日々の研究活動を通して、身をもって示してくれたことは、私の教育・研究の礎になっています。伊藤先生という偉大な恩師にめぐり会うことができたことに改めて感謝する次第です。当時の研究室での飲み会は、ウィスキーのストレートとつまみのコンビーフが中心でしたが、その際の先生のお話しの中で、「人生にはチャンスがあり、そのチャンスをうまく生かすことができるかどうか重要である」が印象に残っています。先生は、東大の航空出身で、土木の研究者として認められるチャンスは、土木学会全国大会での第一線で活躍していた座屈研究の著名な先生方(西野教授、福本教授、倉西教授など・・・)の前での発表の時であったとのことであり、その後の土木分野での研究活動に生きていると述べていたのを思い出します。

1988年ごろに長谷川彰夫東京大学教授(故人)から、本四公団の鋼上部構造委員会に設置される構造分科会の予備会議にお誘いがあり、その後の本四プロジェクトに関わることになるとともに、鋼橋の設計法に関して興味を深めていくことになりました。まもなく、長谷川先生が他界され、引き続き依田照彦早稲田大学教授のもとで構造分科会は引き継がれ、吊形式橋梁の座屈設計に関する研究に繋がりました。1994年に吊橋主塔の座屈設計に関して土木学会田中賞(論文部門)を受賞できたのはこの分科会の

おかげであります。

前述の山本先生とは1989年ごろから共同研究を行うようになり、その間、先生は私の学生時代と同様に私が行動しやすい環境を作ってください、その間の研究成果は共著で論文にまとめることができました。1991年からは本州四国連絡橋公団の鋼上部構造委員会の委員としてご一緒したのですが、1998年の委員会の席上には山本先生の姿はありませんでした。

また、骨組構造の座屈設計における E_f 法の適用に関する研究を進めていた1990年代中頃、同様に斜張橋の耐荷力への E_f 法の適用を進めていた長井正嗣長岡技術科学大学名誉教授との出会いをきっかけに、長大、超長大吊橋・斜張橋に関する座屈・耐荷力および設計法に研究テーマを拡大していくことになり、さらに、鋼橋技術研究会の技術情報部会(部会長：藤野陽三東京大学名誉教授)における長大橋に関する活動において、企業の技術者との技術交流を通してより実践的な研究に繋がりました。その間の長大吊形式橋梁の終局強度に着目した安全率の合理化に関する研究に対して、2002年に土木学会田中賞(論文部門)を受賞できたのも大変光栄でした。

さらに、腐食した構造部材の残存耐荷力問題に興味を持ち、研究を始めた1999年ごろ、日本鋼構造協会の維持管理に関する委員会での森猛法政大学教授との研究活動をきっかけに、それ以来今日まで中心的研究テーマとして推進してきました。2006年には、その研究成果が認められ、土木学会構造工学シンポジウム論文賞を受賞できました。その後、2009年からは(国研)土木研究所、早稲田大学、首都大学の間での共同研究(腐食した鋼トラス格点部の残存耐荷力特性の解明)がスタートし、維持管理マニュアルの構築に向けた研究活動を実施してきており、今後やり残した課題に対して何らかの形で活動していきたいと考えています。

土木学会をはじめ学協会においては、社会インフラの設計・施工・維持管理、橋梁の設計基準さらに国際化などに関して多くのことを学ぶことができました。特に、土木学会鋼構造委員会での活動では、委員長(2013~2014年)として鋼構造分野の発展のために微力ながら関わることができたことは大変うれしい限りです(実際は、全て幹事長の山口隆司大阪市立大学教授のおかげであります)。学内においては、最近特に東京都建設局との連携事業の強化に向けて努力してきましたが、今後都市基盤学域として連携事業の拡大および共同研究へとより一層の発展を期待しております。

上述のように充実した40年を過ごしてきましたが、特に研究活動は、私個人のみでは無理であり、研究室の多くの博士、修士、学士の優秀な学生の協力のおかげであることは言うまでもありません。学生に恵まれ、学生とともに研究できたことは私の貴重な財産であり、教師冥利に尽きるとともに、卒業生の今後の活躍を切に期待するものであります。

最後に、お忙しい中、この最終講義・お祝い会を企画してくださった中村一史准教授および岸祐介助教には深甚なる謝意を表します。両先生には、今後の鋼・合成・複合構造分野での研究においての益々のご活躍を祈念いたします。

2016年3月

野上 邦栄

履 歴 書

ふりがな のがみ くにえい
氏 名 野 上 邦 栄
生年月日 1950年11月29日
e-mail knogami@tmu.ac.jp, knogami2511@gmail.com
(‘at’を@に変更してください)



学歴 1971年4月 芝浦工業大学土木工学科 入学
1975年3月 芝浦工業大学土木工学科 卒業
1989年3月 工学博士(東京都立大学) 取得
論文名: 鋼薄肉骨組構造物の座屈・耐荷力特性に関する研究

職歴 1975年4月 東京都立大学工学部土木工学科助手
1979年4月 木更津工業高等専門学校非常勤講師(～1988年)
1990年4月 東京都立大学都市研究センター研究員(～1993年)
1996年4月 法政大学工学部非常勤講師(～1997年)
1997年4月 東京都立大学大学院工学研究科土木工学専攻助手
1997年10月 芝浦工業大学工学部非常勤講師(～1998年)
1998年4月 東京都立大学大学院工学研究科土木工学専攻助教授
2001年4月 東京都立大学都市研究所研究員(～2004年)
2004年3月 Monash Univ. (オーストラリア) 在外研究員
2005年4月 首都大学東京大学院都市環境科学研究科都市基盤環境学域准教授(名称変更)
2007年4月 芝浦工業大学工学部非常勤講師(～現在)
2008年4月 首都大学東京大学院都市環境科学研究科都市基盤環境学域教授(～現在)
2015年9月 法政大学工学部非常勤講師(～現在)

研究歴 1. 非線形数値解析手法に関する研究(1982～1996)
・新離散化モデルによる極限構造解析法の開発
・極小値探索計算の効率的な手法の開発
・骨組構造物の非線形解析法の開発
・構造物の簡易耐荷力解析法の開発 など
2. 構造物および構造部材の座屈・耐荷力に関する研究(1984～現在)
・構造部材および骨組構造の変形挙動および耐荷力の解明
・吊形式橋梁の座屈・耐荷力の解明
・2主桁プレートガーダ橋の全体座屈の解明
・局所荷重を受ける腹板の座屈安全性照査法の開発 など
3. 構造設計法に関する研究(1987～現在)
・プレートガーダ橋の最適桁高の解明
・有効座屈長の算出法に関する開発
・骨組構造物の終局強度設計法の開発
・長大吊形式橋梁の安全性照査法の開発
・多径間長大吊橋主塔の複合形式の安全性照査法の開発
・構造物の限界状態設計法・性能照査型設計法の開発 など

4. 構造物の最適設計に関する研究(1992～1999)
 - ・等価初期不整法によるラーメン構造物の最適断面設計
 - ・最小重量設計法による部材断面に関する設計基準間の相違の解明 など
5. 鋼構造物の腐食耐久性に関する研究(1998～現在)
 - ・海洋暴露試験体の腐食形態の解明
 - ・腐食損傷による鋼柱部材およびはり部材の残存耐力の解明
 - ・腐食した鋼トラス格点部の残存耐荷力特性の解明
 - ・腐食損傷によるプレートガーダー橋桁端部の残存耐力の解明 など

- 受賞**
- | | |
|-----------|--|
| 1994年 5月 | 土木学会田中賞(論文部門)
著者名：野上邦栄, 成田信之
論文名：吊形式橋梁の塔の座屈設計に関する一考察 |
| 2002年 5月 | 土木学会田中賞(論文部門)
著者名：野上邦栄, 長井正嗣, 藤野陽三, 山口宏樹
論文名：長大吊形式橋梁の終局強度に着目した安全率の合理化に関する研究 |
| 2006年 6月 | 土木学会構造工学シンポジウム論文賞
著者名：山沢哲也, 野上邦栄, 森 猛, 塚田祥久
論文名：腐食損傷部材の腐食形状計測と曲げ耐荷力実験 |
| 2006年 6月 | 土木学会構造工学シンポジウム論文賞
著者名：藤井堅, 近藤恒樹, 田村功, 渡邊英一, 伊藤義人, 野上邦栄, 杉浦邦征, 永田和寿
論文名：海洋環境において腐食した円形鋼管の残存圧縮耐力 |
| 2013年 10月 | 首都大学東京都市環境科学研究科教育主幹教授 |

社会貢献 土木学会, 国土交通省, 東京都, 本州四国連絡橋公団, 日本道路協会, 海洋架橋調査会, 日本技術士会, 日本鋼構造協会, 日本計算工学会, 鋼橋技術研究会, 国際構造工学会 (IABSE) など

土木学会田中賞(論文部門)

1994年5月



田中賞(論文部門)

吊形式橋梁の塔の座屈設計に関する一考察

(著者名：野上邦栄，成田信之)

[土木学会論文集，第446号(I-19)，1992.4. 所載]

正会員 野上邦栄(東京都立大学)
正会員 成田信之(東京都立大学)

わが国の長大吊形式橋梁主塔の座屈設計は，道路橋示方書，および鉄道構造物設計標準を基礎にして各関係機関独自の基準を設けているのが現状であります。

受賞者は，この基準間の相違点，および塔に関する実績調査研究がこれまで少ないことに着目し，①まず，わが国の450m以上の吊橋，200m以上の斜張橋の塔に関する実績調査を行い，その構造諸元および構造特性を明らかにし，②塔の座屈設計において重要な設計因子である構造解析，応力度照査・安定照査，有効座屈長，耐荷力照査について，数値計算を含めた詳細な分析を行い，設計基準間の座屈設計法の相違点を明確にしています。③さらに，吊形式橋梁の現行設計法の問題点を指摘するとともに，今後の塔の座屈設計へ向けての提言を行っています。

超長大吊形式橋梁のプロジェクトが議論されている現在，その経済的かつ合理的な設計は極めて重要な課題であり，その意味においても本論文は，まさに時直を得た内容であり，実用上の貢献度が大きいものと判断できます。よって，田中賞にふさわしいと認められました。

2002年5月



田中賞（論文部門）

長大吊形式橋梁の終局強度に着目した安全率の合理化に関する研究（総合題目）



野上 邦榮
(東京都立大学)



長井 正嗣
(長岡技術科学大学)



藤野 陽三
(東京大学)



山口 宏樹
(埼玉大学)

21世紀における長大吊形式橋梁を中心とした海峡横断道路プロジェクトを現実のものとするには、これまでに開発された技術の継承とともに、より経済的、合理的な設計・施工法の開発が必要となる。本論文は、その目的を達成する方策の一つとして設計における安全率の見直しに着目し、これまでのケーブルなどの材料強度からの安全率低減ではなく、橋梁全体系の終局強度から橋梁構成要素の安全率の低減およびその合理的組み合わせについて検討している。600mの斜張橋を対象にした論文では、ケーブルの安全率を変化させたときの終局挙動に与える影響およびその低減化の可能性を明らかにしている。また、中央径間3000mの吊橋を対象にした論文では、主ケーブル、ハンガーおよび主塔の安全率を変化させた場合の各構成要素の初期降伏および全体系の終局強度の変化を解明し、バランスのとれた安全率の組み合わせを提案している。提案された安全率は現行の安全率に比べて大幅な低減であるが、それに伴う終局強度の低下は小さく、この合理的安全率の適用により鋼重の低減が可能となつて、工費・工期の縮減に大きく寄与すると考えられる。

以上のように、本論文は時宜を得た内容を有し、実用上の工学的貢献度が大きい。また、将来の長大吊形式橋梁を含めて、鋼構造物の新設計法を確立する上での有用な資料を与えていることから、土木学会田中賞に値すると認められた。

土木学会構造工学シンポジウム論文賞

2006年6月 著者名：山沢哲也, 野上邦栄, 森 猛, 塚田祥久
論文名：腐食損傷部材の腐食形状計測と曲げ耐荷力実験



2006年6月 著者名：藤井堅, 近藤恒樹, 田村功, 渡邊英一, 伊藤義人, 野上邦栄,
杉浦邦征, 永田和寿
論文名：海洋環境において腐食した円形鋼管の残存圧縮耐力

研究業績

学術論文 (審査有)

78. W.Lin(Waseda Univ), H.Lam(Waseda Univ), T.Yoda(Waseda Univ), H.Ge(Waseda Univ), Y.Xu (Waseda Univ), H.Kasano(Nihon Univ), K.Nogami and J.Murakoshi(PWRI) : After-fracture redundancy analysis of an aged truss bridge in Japan, *Structure and Infrastructure Engineering*, March 2016, 掲載予定
77. H.Kasano(Nihon Univ), T.Yoda(Waseda Univ), K.Nogami, Y.Kishi and Weiwei Lin(Waseda Univ) : Proposal of Strength Equation for Gusset Plates Subjected to Compressive Force in Steel Truss Bridge, *Journal of Structural Engineering, JSCE*, Vol.62A, 2-1, March 2016, 掲載予定
76. 若山萌美, 野上邦栄, 藤野明義 (横河技術情報), 八木和也 (横河技術情報), 長井正嗣 (長岡技科大学), 平山 博 (大日本コンサルタント) : 鋼製門型ラーメン橋脚隅角部の応力評価に対する解析手法の比較と FEM モデルの構築, 構造工学論文集, Vol.62A, 10-2, 2016 年 3 月, 掲載予定
75. 川口徹朗 (早稲田大), 笠野英行 (早稲田大), 依田照彦 (早稲田大), 平山雄大 (早稲田大), 野上邦栄, 岸祐介: 鋼トラス橋格点部における圧縮耐荷力評価式の適用性の検討に関する解析的研究, 鋼構造論文集, Vol.87, No.25, pp.23-32, 2015 年 10 月
74. N.X.Tung, K.Nogami, T.Yoda(Waseda Univ.), H.Kasano(Waseda Univ.), J.Murakoshi(PWRI), H.Honda(PWRI), D.Tashiro(PWRI) : Evaluation of corrosion at contact surface on gusset plate connections of steel truss bridge, *Journal of Steel Construction Engineering*, Vol. 22, No.85, pp.61-71, March 2015
73. 野上邦栄, 竹内幸治 (NEXCO 東), 山下洋平 (JR 東), 岸祐介, 長井正嗣 (長岡技科大学), 奥井義昭 (埼玉大), 野阪克義 (立命館大), 小室雅人 (室蘭工大), 宮下剛 (長岡技科大学) : 実橋箱断面圧縮部材の耐荷力特性と基準耐荷力曲線に関する検討, 構造工学論文集, Vol.61A, 2-1, pp.35-48, 2015 年 3 月
72. N.X.Tung, K.Nogami, T.Yoda(Waseda Univ.), H.Kasano(Waseda Univ.), J.Murakoshi(PWRI), M.Swada(PWRI) : Evaluation of corrosion state of gusset plate connections on steel truss bridge, *Journal of Steel Construction Engineering*, Vol.21, No.83, pp.71-83, September 2014
71. 小室雅人 (室蘭工大), 奥井義昭 (埼玉大), 野阪克義 (立命館大), 宮下剛 (長岡技科大学), 野上邦栄, 長井正嗣 (長岡技科大学) : 初期たわみと残留応力の統計データを用いた自由突出板の限界強度に関する数値解析的検討, 構造工学論文集, Vol.60A, 2-2, pp.80-93, 2014 年 3 月
70. 野阪克義 (立命館大), 奥井義昭 (埼玉大), 小室雅人 (室蘭工大), 宮下剛 (長岡技科大学), 野上邦栄, 長井正嗣 (長岡技科大学) : SBHS 鋼材を用いた鋼 I 桁の耐荷力特性に関する実験的研究, 構造工学論文集, Vol.59A, 2-2, pp.70-79, 2013 年 3 月
69. 野上邦栄, 平山博 (大日本コンサルタント), 清水茂 (信州大), 古田富保 (横河ブリッジ) : 鉛直局部荷重を受ける鋼桁腹板の安定照査法に関する一提案, 構造工学論文集, Vol.59A, 2-1, pp.56-69, 2013 年 3 月
68. 村越潤 (土木研究所), 有村健太郎 (土木研究所), 澤田守 (土木研究所), 遠山直樹 (土木研究所), 依田照彦 (早稲田大), 野上邦栄, 笠野英行 (早稲田大) : 腐食劣化の生じた鋼トラス橋の現地の載荷試験と耐荷性能評価に関する検討, 構造工学論文集, Vol.59A, 10-10, pp.736-746, 2013 年 3 月
67. 村越潤 (土木研究所), 遠山直樹 (土木研究所), 澤田守 (土木研究所), 有村健太郎 (土木研究所), 郭路 (土木研究所), 依田照彦 (早稲田大), 笠野英行 (早稲田大), 野上邦栄 : 腐食劣化の生じた鋼トラス橋格点部の圧縮耐荷力に着目した載荷試験, 構造工学論文集, Vol.59A, 2-9, pp.156-168, 2013 年 3 月

66. 山沢哲也 (鹿島建設), 野上邦栄, 小峰翔一 (東京鐵骨橋梁), 依田照彦 (早稲田大), 笠野英行 (早稲田大), 村越潤 (土木研究所), 遠山直樹 (土木研究所), 澤田守 (土木研究所), 有村健太郎 (土木研究所), 郭路 (土木研究所): 模擬腐食を導入した鋼トラス橋斜材の残存圧縮耐力, 構造工学論文集, Vol.59A, 2-8, pp.143-155, 2013年3月
65. H.Kasano(Waseda Univ.), T.Yoda(Waseda Univ.), Kuniei Nogami, J.Murakoshi(PWRI), N.Toyama(PWRI), M.Sawada(PWRI), K. Arimura(PWRI) and L.Guo(PWRI): Study on Failure modes of Steel Truss Bridge Gusset Plates Related to Tension and Shear Block Failure, *International Journal of Steel Structures, The Korean Society of Steel Construction*, Volume 12, Issue 3, pp 381-389, September 2012
64. 野上邦栄, 山本憲, 山沢哲也 (鹿島建設), 依田照彦 (早稲田大), 笠野英行 (早稲田大), 村越潤 (土木研究所), 遠山直樹 (土木研究所), 有村健太郎 (土木研究所), 澤田守 (土木研究所), 郭路 (土木研究所): 鋼トラス橋の上弦材側格点部の腐食計測とその腐食形態の特徴, 構造工学論文集, Vol.58A, pp.679-691, 2012年3月
63. 笠野英行 (早稲田大), 高橋諒 (早稲田大), 依田照彦 (早稲田大), 野上邦栄, 村越潤 (土木研究所), 遠山直樹 (土木研究所), 有村健太郎 (土木研究所), 澤田守 (土木研究所): 鋼トラス橋の格点部におけるガセットプレートブロックせん断破壊に対する耐力評価式の適用性の検討, 構造工学論文集, Vol.57A, pp.104-113, 2011年3月
62. M.Nagai(Nagaoka Univ. of Tech.), E.Yamaguchi (Kyushu Inst. of Tech.), K.Nogami, T.Yoda (Waseda Univ.): Design codes for steel and composite structures in Japan, *IABSE-fib Conference on Codes in Structural Engineering*, CD-ROM, Croatia, May 2010
61. 藤井 堅 (広島大), 橋本和朗 (広島大), 渡邊英一, 伊藤義人 (名古屋大), 杉浦邦征 (京都大), 野上邦栄, 永田和寿 (名工大), 中村秀治 (広島大): 海洋環境における鋼管杭の圧縮強度の経年変化予測法, 土木学会論文集, Vol.66, No.1, pp.92-105, 2010年3月
60. 野上邦栄, 大久保亜衣 (神奈川県), 森園康之 (長大): 4径間超長大吊橋の弾塑性挙動と終局強度特性に関する考察, 構造工学論文集, Vol.56A, pp.817-826, 2010年3月
59. 山沢哲也 (鹿島建設), 野上邦栄, 園部裕也, 片倉健太郎 (パシフィック C): 厳しい腐食環境下にあった鋼圧縮部材の残存耐力実験, 構造工学論文集, Vol.55A, pp.52-60, 2009年3月
58. 宮下健治 (長大), 野上邦栄, 山沢哲也 (鹿島建設): 鉛直局部荷重を受ける合理化桁腹板のクリップリングとその補強方法, 構造工学論文集, Vol.54A, pp.80-89, 2008年3月
57. 山沢哲也 (鹿島建設), 野上邦栄, 伊藤義人 (名古屋大), 渡邊英一 (京都大), 杉浦邦征 (京都大), 藤井 堅 (広島大), 永田和寿 (名工大): 19.5年海洋曝露された鋼アングル材の腐食形態, 土木学会論文集, Vol.64, No.1, pp.27-37, 2008年1月
56. 森 猛 (法政大), 橘 敦志 (メタルワン), 野上邦栄, 山沢哲也 (鹿島建設): 腐食鋼板の引張・降伏耐力評価法に関する検討, 土木学会論文集, Vol.64, No.1, pp.38-47, 2008年1月
55. D.H.Choi (Hanyang Univ.), H.Yoo (Hanyang Univ.), J.I.Shin (Hanyang Univ.), K.Nogami : Ultimate behaviour and ultimate load capacity of steel cable-stayed bridges, *Journal of structural engineering and mechanics*, Vol.27, No.4, pp.477-499, December 2007
54. D.H.Choi (Hanyang Univ.), H.Yoo (Hanyang Univ.), J.H.Koh (Hanyang Univ.), K.Nogami : Stability evaluation of steel cable-stayed bridges using elastic and inelastic buckling analysis, *International journal of structural stability and dynamics*, Vol.7, No.4, pp.669-691, December 2007
53. 野上邦栄, 気仙祐輔 (三井住友建設), 山沢哲也, 森園康之 (長大), 長井正嗣 (長岡技科大): 塔高を中央径間長の1/10とした鋼製斜張橋の終局強度特性, 構造工学論文集, Vol.53A, pp.107-116, 2007年3月

52. 杉浦邦征 (京都大), 田村 功 (鹿島建設), 渡邊英一 (京都大), 伊藤義人 (名古屋大), 藤井 堅 (広島大), 野上邦栄, 永田和寿 (名工大), 岡 扶樹 (新日鉄) : 腐食鋼板の圧縮強度の簡易評価法に関する検討, 土木学会論文集, Vol.63, No.1, pp.43-55, 2007年3月
51. 藤井 堅 (広島大), 近藤恒樹 (広島大), 田村 功 (鹿島建設), 渡邊英一 (京都大), 伊藤義人 (名古屋大), 野上邦栄, 杉浦邦征 (京都大), 永田和寿 (名工大) : 海洋環境において腐食した円形鋼管の残存圧縮耐力, 構造工学論文集, Vol.52A, pp.721-730, 2006年3月
50. 杉浦邦征 (京大), 田村 功 (鹿島建設), 渡邊英一 (京大), 伊藤義人 (名大), 藤井 堅 (広大), 野上邦栄, 永田和寿 (名工大), 岡 扶樹 (新日鉄) : 腐食鋼板の力学特性評価のための板厚計測および有効板厚に関する考察, 構造工学論文集, Vol.52A, pp.679-687, 2006年3月
49. 山沢哲也, 野上邦栄, 森 猛 (法政大), 塚田祥久 (建設技術研究所) : 腐食鋼部材の腐食形状計測と曲げ耐荷力実験, 構造工学論文集, Vol.52A, pp.711-720, 2006年3月
48. 野上邦栄, 染谷厚徳 (オリエンタルコンサルタンツ), 山沢哲也 : 4径間超長大吊橋の弾塑性挙動と合理的な主塔剛性比, 構造工学論文集, Vol.52A, pp.901-912, 2006年3月
47. 森園康之 (長大), 長井正嗣 (長岡技科大), 野上邦栄, 藤野陽三 (東大) : 塔高の低い鋼斜張橋の試設計と適用性に関する比較考察, 橋梁と基礎, Vol.39, pp.49-53, 2005年3月
46. 田村 功 (鹿島建設), 渡邊英一 (京都大), 伊藤義人 (名古屋大), 藤井 堅 (広島大), 野上邦栄, 杉浦邦征 (京都大), 永田和寿 (京都大), 岡 扶樹 (新日鉄) : 海浜環境において腐食した鋼管の形状計測と残存耐力に関する検討, 構造工学論文集, Vol.51A, pp.1103-1110, 2005年3月
45. 秋本泰治 (JFE エンジニアリング), 野上邦栄, 山沢哲也, 森園康之 (長大), 長井正嗣 (長岡技科大) : 塔高を中央径間長の1/10とした鋼製斜張橋の終局強度特性, 構造工学論文集, Vol.51A, pp.107-116, 2005年3月
44. 深谷道夫 (JFE エンジニアリング), 野上邦栄, 山沢哲也 : 架設時の合理化鋼2主桁橋の横座屈特性と終局強度, 構造工学論文集, Vol.51A, pp.171-181, 2005年3月
43. 森園康之 (長大), 長井正嗣 (長岡技科大), 野上邦栄, 藤野陽三 (東大) : 塔高を中央径間長の1/10とした鋼斜張橋の力学的特性と自定式吊橋との比較, 構造工学論文集, Vol.50A, pp.781-789, 2004年3月
42. 野上邦栄, 岩崎秀隆, 秋本泰治, 長井正嗣 (長岡技科大) : 一部他定式・自定式超長大斜張橋の弾塑性挙動と耐荷力に関するパラメトリックスタディー, 構造工学論文集, Vol.50A, pp.61-72, 2004年3月
41. 長井正嗣 (長岡技科大), 奥井義昭 (埼玉大), 岩崎英治 (長岡技科大), 野上邦栄, 廣野智紀 (長岡技科大) : 合成斜張橋主桁の終局挙動の解明と安定照査法, 構造工学論文集, Vol.50A, pp.53-59, 2004年3月
40. 野上邦栄, 深谷道夫, 山沢哲也, 岩崎秀隆 : 架設時の合理化2主桁橋の全体横座屈に関する一考察, 構造工学論文集, Vol.49A, pp.65-74, 2003年3月
39. 野上邦栄, 長井正嗣 (長岡技科大) : 超長大吊橋主塔の初期不整が主ケーブル, ハンガー及び主塔の安全率設定に与える影響, 土木学会論文集, No.717/I-61, pp.161-166, 2002年3月
38. 岩崎秀隆, 野上邦栄, 長井正嗣 (長岡技科大) : 超長大一部他定式斜張橋の終局強度に与える構造パラメータの影響, 構造工学論文集, Vol.48A, pp.77-86, 2002年3月
37. 野上邦栄, 斎藤一則 (福岡県), 長井正嗣 (長岡技科大), 藤野陽三 (東大) : 超長大吊橋の終局強度に着目した主ケーブル, ハンガー及び主塔の安全率の合理化, 土木学会論文集, No.682/I-56, pp.323-334, 2001年3月

36. 山沢哲也, 野上邦栄, 三木千壽 (東工大) : 立体挙動を考慮した連続合成桁橋中間支点部の合理化設計法の基礎的研究, 構造工学論文集, Vol.47A, pp.1153-1160, 2001年3月
35. 野上邦栄, 山沢哲也, 小栗友紀, 加藤美幸 (建設技術研究所) : 腐食減厚に伴う曲げおよび圧縮部材の残存耐力評価に関する一考察, 構造工学論文集, Vol.47A, pp.93-102, 2001年3月
34. 野上邦栄, 岩崎秀隆, 柴田晃一 (住友建設), 長井正嗣 (長岡技科大) : 長大斜張橋の耐荷力評価手法としての E_f 法の精度と終局強度照査法に関する研究, 土木学会論文集, No.668/I-54, pp.217-230, 2001年3月
33. 長井正嗣 (長岡技科大), 謝 旭 (埼玉大), 山口宏樹 (埼玉大), 野上邦栄, 新井田勇二 (長岡技科大) : 斜張橋ケーブルの非線形挙動が終局挙動, 強度に与える影響及び安全率低減の可能性に関する一考察, 土木学会論文集, No.661/I-53, pp.85-94, 2000年10月
32. 長井正嗣 (長岡技科大), 謝 旭 (埼玉大), 山口宏樹 (埼玉大), 野上邦栄, 新井田勇二 (長岡技科大) : 斜張橋主桁の終局挙動, 強度特性の解明と安定照査に関する一考察, 土木学会論文集, No.647/I-51, pp.253-265, 2000年3月
31. 長井正嗣 (長岡技科大), 坂根秀和 (宮地鐵工), 謝 旭 (埼玉大), 山口宏樹 (埼玉大), 野上邦栄, 藤野陽三 (東大) : 長大斜張橋のケーブル安全率設定が静的, 動的不安定挙動に与える影響, 構造工学論文集, Vol.46A, pp.151-160, 2000年3月
30. 野上邦栄, 山口 卓 (大成建設), 岩崎秀隆, 長井正嗣 (長岡技科大) : 超長大斜張橋の終局強度評価への E_f 法の適用性に関する一考察, 日本計算工学会論文集, No.19990004, Vol.1, pp.51-56, 1999年3月
29. 長井正嗣 (長岡技科大), 謝 旭 (埼玉大), 山口宏樹 (埼玉大), 野上邦栄 : マルチケーブル斜張橋主桁の桁高さが耐荷力に及ぼす影響, 構造工学論文集, Vol.45A, pp.77-82, 1999年3月
28. 野上邦栄, 岩崎秀隆 (日立造船), 成田信之, 長井正嗣 (長岡技科大) : 超長大斜張橋主桁の安全性照査法に関する一考察, 構造工学論文集, Vol.45A, pp.83-92, 1999年3月
27. 野上邦栄, 栗原康行 (NKK), 成田信之, 杉本博之 (北海学園大) : 等価初期不整法によるラーメン構造物の最適断面設計, 構造工学論文集, Vol.45A, pp.1283-1293, 1999年3月
26. 野上邦栄, 長井正嗣 (長岡技科大), 木下博道 (千葉県), 山本一之 (芝浦工大), 藤野陽三 (東大) : 複数耐荷力曲線を用いた斜張橋主桁の終局強度特性と座屈照査法, 構造工学論文集, Vol.43A, pp.253-261, 1997年3月
25. K.Nogami, N.Narita : The Stability Design of Towers of Cable-Supported bridges, *Journal of Japan Society of Civil Engineers*, Vol.13, No.2, pp.187-200, 1996
24. 野上邦栄, 山本一之 (芝浦工大), 成田信之 : 鋼骨組構造物の簡易耐荷力算出法の提案, 構造工学論文集, Vol.42A, pp.83-90, 1996年3月
23. 野上邦栄, 成田信之 : はり一柱の等価初期たわみに及ぼす荷重パラメータの影響, 構造工学論文集, Vol.41A, pp.171-178, 1995年3月
22. 野上邦栄, 他 (分担執筆) : 鋼構造物の終局強度と設計, 土木学会論文集, No.507/I-30, pp.1-8, 1995年3月
21. 野上邦栄, 山本一之 (芝浦工大) : 構造全体系の固有値解析による骨組部材の合理的な有効座屈長の評価, 土木学会論文集, No.489/I-27, pp.157-166, 1994年3月
20. 杉本博之 (室蘭工大), 野上邦栄, 杉本治暁 (室蘭工大) : 使用板厚を離散値にした場合の鋼構造部材の耐荷力関連規程の比較・検討, 鋼構造論文集, Vol.1, No.1, pp.143-153, 1994年3月
19. 野上邦栄, 高木 真 (清水建設), 林 一輝 (NKK), 成田信之 : 弾性有限変位解析に基づく設計における骨組構造の等価初期不整, 構造工学論文集, Vol.40A, pp.263-274, 1994年3月

18. 野上邦栄, 上田浩章 (八千代エンジニアリング), 山本一之 (芝浦工大): 鋼ラーメン構造の設計における $P - \Delta$ 法と有効座屈長法の限界強度評価, 構造工学論文集, Vol.39A, pp.211-220, 1993年3月
17. 野上邦栄: ラーメン柱の有効座屈長算出法に関する一考察, 構造工学論文集, Vol.39A, pp.199-210, 1993年3月
16. 野上邦栄: 鋼ラーメン柱の実用的座屈設計法に関する一提案, 土木学会論文集, No.459/I-22, pp.159-162, 1993年3月
15. 野上邦栄, 他 (分担執筆): 構造システム最適化の現状と将来, 土木学会論文集, No.450/I-20, pp.1-12, 1992年3月
14. 野上邦栄, 成田信之: 吊形式橋梁の塔の座屈設計に関する一考察, 土木学会論文集, No.446/I-19, pp.225-234, 1992年3月
13. 杉本博之 (室蘭工大), 野上邦栄: 最小重量設計法による鋼構造部材の耐荷力関連規程の比較研究, 構造工学論文集, Vol.38A, pp.487-496, 1992年3月
12. 野上邦栄, 成田信之: 鋼斜張橋主塔の構造特性と座屈設計に関する実績調査研究, 構造工学論文集, Vol.38A, pp.167-180, 1992年3月
11. 野上邦栄, 成田信之, 山本一之 (芝浦工大): 吊橋主塔の構造特性および座屈設計に関する実績調査研究, 構造工学論文集, Vol.37A, pp.177-190, 1991年3月
10. 野上邦栄: 極小値探索計算の一効率的な手法, 構造工学論文集, Vol.36A, pp.417-428, 1990年3月
9. 野上邦栄, 他 (分担執筆): 構造工学における非線形数値解析の現状と将来, 土木学会論文集, No.404/I-11, pp.1-11, 1989年3月
8. 野上邦栄, 安部大志 (NKK): 吊橋主塔の安定照査式に関する一考察, 構造工学論文集, Vol.35A, pp.107-116, 1989年3月
7. 伊藤文人, 野上邦栄, 田中充夫 (首都公団): ラーメン形式吊橋主塔の耐荷力解析, 構造工学論文集, Vol.34A, pp.131-144, 1988年3月
6. 伊藤文人, 野上邦栄: 許容応力度設計法におけるプレートガーダの最適桁高, 土木学会論文集, No.380/I-7, pp.321-330, 1987年3月
5. 伊藤文人, 野上邦栄, 尾崎浩明 (横河技術情報): 剛体棒要素モデルを用いたアーチの面内座屈解析, 構造工学論文集, Vol.33A, pp.27-40, 1987年3月
4. F.Itoh, K.Nogami: On the Tracing Calculation of the Equilibrium Path for Imperfect Systems, *Journal of Japan Society of Civil Engineers*, No.368/I-5, pp.354-363, March 1986
3. 伊藤文人, 野上邦栄: 不完全系釣合径路追跡計算上の問題点とその対策, 構造工学論文集, Vol.32A, pp.165-176, 1986年3月
2. 伊藤文人, 野上邦栄: 2主桁下路プレートガーダの全体座屈, 構造工学論文集, Vol.31A, pp.1-14, 1985年3月
1. F.Itoh, K.Nogami: Overall Lateral Buckling of Through-Plate Girder Bridges, *Journal of Japan Society of Civil Engineers*, No.344/I-1, pp.55-65, March 1984

学術論文 (アブストラクト 審査有)

17. 井尾伸太郎, 野上邦栄, 奥井義昭 (埼玉大), 森園康之 (長大) : 低塔を有する 200 m 合成斜張橋の弾塑性挙動と終局強度, 複合・合成構造の活用に関するシンポジウム講演集, No.8, pp.4-1-4-6, 2009.11
16. 宮下健治, 山沢哲也, 野上邦栄 : 連続合成桁中間支点部における水平補剛材の最適取付位置, 鋼構造年次論文報告集, Vol.14, pp.521-526, 2006
15. J.Matavo, T.Yamasawa, K.Nogami : Developing moment-rotation model equations for top-angle with double web angle connections, *Journal of Constructional Steel*, Vol.14, pp.631-638, 2006
14. 依田照彦 (早稲田大), 野上邦栄 : 鋼・合成構造標準示方書小委員会設計部会報告, 土木学会鋼構造委員会鋼構造と橋に関するシンポジウム論文報告集, No.8, pp.1-8, 2005
13. 野上邦栄, 依田照彦 (早稲田大) : 海外における鋼構造物の設計技術規準の現状, 土木学会鋼構造委員会鋼構造と橋に関するシンポジウム論文報告集, No.5, pp.31-40, 2002
12. 野上邦栄, 西出 大 (川崎市), 成田信之 : 超長大吊橋主塔の橋軸方向面内の耐荷力特性, 鋼構造年次論文報告集, Vol.6, pp.279-284, 1998
11. 野上邦栄, 柴田晃一 (住友建設), 謝 旭 (埼玉大), 山口宏樹 (埼玉大), 長井正嗣 (長岡科技大) : 斜張橋全体系の簡易耐荷力評価法について, 鋼構造年次論文報告集, Vol.6, pp.293-298, 1998
10. 野上邦栄, 中田 隆 (パシフィックコンサルタンツ), 足立格一郎 (芝浦工大) : 全体座屈時の変位座屈モードを用いた有効座屈長算出法に関する一考察, 計算工学講演会論文集, Vol.3, pp.825-828, 1998
9. 井浦雅司 (東京電機大), 野上邦栄, 南野寿造 (CRC), 平山 博 (大日本 C), 望月清彦 (サクラダ) : 鋼骨組構造の有効座屈長の算出法に関する提案, 鋼構造年次論文報告集, Vol.2, pp.61-68, 1995
8. 野上邦栄, 佐古田圭一 (広島県), 山本一之 (芝浦工大) : 弾性有限変位解析による骨組構造の簡易耐荷力算出法の提案, 構造工学における数値解析法シンポジウム論文集, 第 18 回, pp.111-116, 1994
7. 野上邦栄, 杉本博之 (室蘭工大), 杉本治暁 (室蘭工大) : 鋼骨組の座屈設計法に関する一試み, SGST 拡大研究会論文集, No.2, pp.75-84, 1993
6. 野上邦栄, 高瀬 弘 (オリエンタルコンサルタンツ), 山本一之 (芝浦工大) : 微小軸圧縮力を受ける骨組部材の有効座屈長に関する一考察, 構造工学における数値解析法シンポジウム論文集, 第 16 回, pp.385-390, 1992
5. 野上邦栄, 上田浩章 (八千代エンジニアリング), 山本一之 (芝浦工大) : 鋼ラーメン構造物の安定照査に関する一考察, 構造工学における数値解析法シンポジウム論文集, 第 15 回, pp.209-214, 1991
4. 小林岳彦 (東京鐵骨橋梁), 野上邦栄, 伊藤文人 : 平面ラーメン構造物の実用的な耐荷力算出法について, 構造工学における数値解析法シンポジウム論文集, 第 12 回, pp.467-472, 1988
3. K.Nogami, F.Itoh, M.Tanaka : Approximation Levels for Finite Displacement Theory and the Formula of Lateral Torsional Buckling Moment, *Japan National Congress of Theoretical and Applied Mechanics*, Vol.34, pp.321-334, 1986
2. K.Nogami, F.Itoh : On Slipping Behavior on Parallel Wire Suspension Cable on the Saddle, *Japan National Congress of Theoretical and Applied Mechanics*, Vol.32, pp.415-425, 1984
1. 野上邦栄, 伊藤文人, 尾崎浩明 (横河技術情報) : 有限剛体要素モデルを用いた骨組部材の弾性解析, マトリックス解析法研究発表論文集, No.17, pp.215-220, 1983

国際会議論文

84. M.Wakayama, K.Nogami, A.Fujino(Yokogawa Tech.-Infor. Serv. Inc.), K.Yagi(Yokogawa Tech.-Infor. Serv. Inc.), M.Nagai(Nagaoka Univ. of Tech.), H.Hirayama(Nippon Eng. Consult. Co.,Ltd.): Evaluation of stress concentration and its effect on ultimate strength of beam-to-column connections in steel rigid-frame piers, *The 14th East Asia Conference on Structural Engineering Construction*, pp.897-904, January 2016
83. Y.Kishi, K.Nogami, A.Katagiri, S.Nakamura(Nagasaki Univ.), k.Ikezue(Yokogawa Bridge), H.Hirayama(Nippon Engineering Consultants), T.Mizutani(TTBS), M.Shirato(TTBS) : Numerical Evaluation for Coupled Buckling Strength of Steel Compression Members with Box Section, *The 14th East Asia Conference on Structural Engineering Construction*, pp.1889-1896, January 2016
82. S.Matsumoto, K.Nogami, Y.Kishi, T.Hosomi(TTK), H.Komine(TTK). T.Irube(TTK) : Study on Corrosion Distribution and Ultimate Strength of a Plate Girder Bridge 's Support Area, *Journal of IABSE-Japan conference*, pp.187-191, August 2015
81. N.X.Tung, K.Nogami, T.Yoda(Waseda Univ.), H.Kasano(Waseda Univ.), J.Murakoshi(PWRI), N.Takahashi(PWRI), D.Tashiro(PWRI) : Evaluation for corrosion state of the translation area between gusset plates and flanges of diagonal members on the connections of steel truss bridge, *Proceeding of the 4th International GIGAKU Conference(IGCN 2015)*, June 2015
80. N.X.Tung, K.Nogami, M.Yamamoto, S.Takahashi, M.Kurihara, T.Yoda(Waseda Univ.), H.Kasano (Waseda Univ.), J.Murakoshi(PWRI), N.Toyama(PWRI), M.Sawada(PWRI) : Corrosion evaluation of gusset plate connection removed from steel truss bridge, *Journal of IABSE*, Nara, IA-2, pp.1-8, May 2015
79. H.Kasano(Waseda Univ.), T.Yoda(Waseda Univ.), K.Nogami, J.Murakoshi(PWRI), M.Sawada(PWRI) : Strength Verification of Steel Truss Gusset Plates Subjected to Compressive Force, *Journal of IALCCE*, November 2014
78. T.Yoda(Waseda Univ.), H.Ge(Waseda Univ.), W.Lin(Waseda Univ.), H.Kasano(Waseda Univ.), K.Nogami, J.Murakoshi(PWRI), T.Enomoto(PWRI), D.Tashiro(PWRI) : After-Fracture Redundancy Analysis of an Aged Truss Bridge in Japan, *Journal of IALCCE*, November 2014
77. T.X.Nguyen, K.Nogami, M.Kurihara, T.Yoda(Waseda Univ.), H.Kasano(Waseda Univ.), J.Murakoshi(PWRI), T.Enomoto(PWRI) : Evaluation for corrosion state of reinforced gusset plate connection on steel truss bridge, *Journal of IALCCE*, November 2014
76. N.X.Tung, K.Nogami, M.Yamamoto, S.Takahashi, M.Kurihara, T.Yoda(Waseda Univ.), H.Kasano (Waseda Univ.), J.Murakoshi(PWRI), N.Toyama(PWRI), M.Sawada(PWRI) : Evaluation for corrosion state of 2 gusset plate connections on steel truss bridge, *Journal of Eurosteel*, pp.1-8, September 2014
75. K.Nogami, T.Hirayama, T.Kishi,T.Yoda(Waseda Univ.), H.Kasano(Waseda Univ.), J.Murakoshi(PWRI), H.Honda(PWRI), D.Tashiro(PWRI) : Elasto-Plastic Behavior and Ultimate Strength of Steel Truss Bridge Considering Corroded Gusset Plate Connections, *Japanese-German Colloquium for Steel and Composite Bridges*, pp.1-10, September 2014
74. N.X.Tung, K.Nogami, M.Yamamoto, S.Takahashi, M.Kurihara, T.Yoda(Waseda Univ.), H.Kasano(Waseda Univ.), J.Murakoshi(PWRI), N.Toyama(PWRI), M.Sawada(PWRI) : A new method of corrosion measurement and evaluation for corrosion state of gusset plate connection on steel truss bridge, *Proceedings of Pacific Steel Structural Council*, pp.114-119, Singapore, October 2013

73. N.X.Tung, K.Nogami, S.Takahashi, M.Kurihara, T.Yoda(Waseda Univ.), H.Kasano(Waseda Univ.), J.Murakoshi(PWRI), N.Toyama(PWRI) , M.Sawada(PWRI) : Evaluation for corrosion state of lower gusset plate connections on steel truss bridge, *The 12th East Asia Conference on Steel Engineering Construction*, Hokkaido, September 2013
72. N.X.Tung, K.Nogami, T.Yoda(Waseda Univ.), H.Kasano(Waseda Univ.), J.Murakoshi(PWRI), M.Sawada(PWRI) : Evaluation of crevice corrosion state of gusset plate connection on steel truss bridge, *The Japan-Korea Joint Symposium on steel bridges*, pp.39-47,Okinawa, August 2013
71. K.Fujioka, K.Nogami, T.Ikeda(Chodai Co.), M.Nagai(Nagaoka Univ.) : Elasto-plastic behavior and ultimate strength of 4 long-span suspension bridge, *The Japan-Korea Joint Symposium on steel bridges*, pp.343-348, Okinawa, August 2013
70. M.Kurihara, K.Nogami, S.Takahashi, N.X.Tung, T.Yoda(Waseda Univ.), H.Kasano(Waseda Univ.), J.Murakoshi(PWRI), M.Sawada(PWRI) : Corrosion state of lower plate connection on steel truss bridge and loading test result, *The Japan-Korea Joint Symposium on steel bridges*, pp.23-29, Okinawa, August 2013
69. H.Kasano(Waseda Univ.), T.Yoda(Waseda Univ.), K.Nogami, J.Murakoshi(PWRI), M.Sawada(PWRI), W.Lin(Waseda Univ.), H.Lan(Waseda Univ.) and H.Ge(Waseda Univ.) : Ultimate behavior of steel truss bridge gusset plates subjected to compressive force, *The Japan-Korea Joint Symposium on steel bridges*, pp.30-38, Okinawa, August 2013
68. N.X.Tung, K.Nogami, N.Yamamoto, T.Yamasawa(Kajima Const.), T.Yoda(Waseda Univ.), H.Kasano(Waseda Univ.), J.Murakoshi(PWRI), N.Toyama(PWRI), M.Sawada(PWRI) : Measurement of corroded gusset plate connection of steel truss bridge and evaluation for its corrosion state, *The International Conference on Advances in Civil Engineering (DFE2013)*, pp.657-662, Kinoc, Hangary, April 2013
67. N.X.Tung, K.Nogami, Morio Yamamoto, Tetsuya Yamasawa, T.Yoda(Waseda Univ.), H.Kasano(Waseda Univ.), J.Murakoshi(PWRI), N.Toyama(PWRI), M.Sawada(PWRI):A new method of corrosion measurement and evaluation for corrosion state of gusset plate connection on steel truss bridge, *Proceedings of sustainable built environment for now and future*, pp.481-488, Hanoi, Vietnam, March 2013
66. M.Sawada(PWRI), J.Murakoshi(PWRI), N.Toyama(PWRI) , K.Nogami, T.Yoda(Waseda Univ.), H.Kasano(Waseda Univ.), K. Arimura(Oriental Cons.) : Field loading test and loading capacity evaluation of a seriously corroded steel-truss bridge, *28th US-Japan bridge engineering workshop*, November 2012
65. K.Nogami: A Structural Characteristics and Ultimate Strength of Multi Span Suspension Bridges for Crossing Wide Straits, *Japan & Thailand EIT Joint seminar*, pp.9-16, August 2012
64. T.Yamasawa (Kajima Corp.), K.Nogami, T.Koyama : A measurement of crevice corrosion of panel points of corroded steel truss bridge and an evaluation for corrosion state, *Journal of Eurosteel*, Butapesto, I, pp.393-398, October 2011
63. S.Io (Pacific Cons.), K.Nogami, K.Ikeda (Chodai Co.), M.Nagai (Nagaoka Univ. of Tech.) : Ultimate behaviour and strength of 5-span continuous suspension bridges, *Proc. of IABSE*, London I, September 2011)
62. T.Ban, K.Nogami, S.Io, K.Ikeda (Chodai Co.), M.Nagai (Nagaoka Univ. of Tech.) : Ultimate Strength of 4 Super Long-Span Suspension Bridge, *Proc. of the sixth Pacific Structural Steel Conference*, China, No.9, pp.125-130, October, 2010

61. N.Yoshida, K.Nogami, M.Nagai (Nagaoka Univ. of Tech.) : Large-scale strait crossing project in Japan and two related topics, *Proc. of the sixth Pacific Structural Steel Conference*, China, No.1, pp.100-105, October, 2010
60. K.Nogami, S.Io, N.Yoshida (Shimizu Const.) : Elasto-plastic behavior and ultimate strength of steel and composite cable-stayed bridges with tower height of 1/10 of the center span length, *Proceeding of Bangladesh-Japan conference, IABSE*, August, 2010
59. Masatsugu Nagai(Nagaoka Univ. Of Technology), Eiki Yamaguchi(Kyushu institute of technology), Kuniei Nogami, Teruhiko Yoda(Waseda Univ.) : Introduction of recent development of steel and composite bridges in Japan, *Proceeding of Bangladesh-Japan conference, IABSE*, August, 2010
58. K.Nogami, A.Okubo (Kanagawa pref.), Y.Morizono (Chodai Co.), M.Nagai (Nagaoka Univ. of Tech.) : Elasto-Plastic Behaviors and Ultimate Strength of Continuous Super Long-Span Suspension Bridge, *The 5th internationa conference on bridge maintenance, safety and management, IABMAS2010*, USA, July, 2010
57. K.Nogami, T.Yoda(Waseda Univ.) : Future Prospects of JSCE Standard Specifications for Steel and Composite Structures, *Japan-EIT Joint seminar*, Thailand, September, 2009
56. N.Nakajima, K.Nogami, N.Sakurai, T.Matubara : The stability verification and the stiffening method of web panel of I-girder bridges subjected to patch loadings, *Proceeding of the 12th Japan-Korea joint seminar on steel bridges*, No.12, August, 2009
55. S.Io, K.Nogami, K.Morizono(Chodai Co.), Y.Okui(Saitama Univ.) : The stability verification and the stiffening method of web panel of I-girder bridges subjected to patch loadings, *Proceeding of the 12th Japan-Korea joint seminar on steel bridges*, No.12, August, 2009
54. E.Yamaguchi(Kyushu Inst. of tech.), M.Nagai(Nagaoka Univ. of Tech.), K.Nogami, T. Yoda (Waseda Univ.) : Model design codes for steel and composite structures in Japan, *Japanese german Bridge Symposium*, No.8, Munich, Germany , August, 2009
53. E.Yamaguchi(Kyushu Inst. of tech.), M.Nagai, K.Nogami, T. Yoda(Waseda Univ.) : JSCE standard specification for steel and composite structures, *Australia-Japan Workshop on Steel and Composite Structures*, Sydney, March, 2009
52. T. Yoda(Waseda Univ.) , K.Nogami : Partial factors of performance-based design specifications for steel and composite structures, *International Symposium on Steel Structures 2008 of Korea*, No.5, pp.210-214, March, 2009
51. K.Nogami, T. Yoda(Waseda Univ.) : Future Prospects of the standard specifications for steel and composite structures -2007, *International Symposium on Steel Structures 2008 of Korea*, No.5, pp.184-188, March, 2009
50. K.Yoshida, K.Nogami, H.Iwasaki(Nipou Corp.), Y.Morizono(Chodai Co.): The stability verification and the stiffening method of web panel of I-girder bridges subjected to patch loadings, *Proceeding of CE2008 of the Kenya*, No.2, pp.221-227, September, 2008
49. J.M.Matavo(Kenya), T.Yamasawa(Kajima Const.), K.Nogami : Prediction and classification of moment-rotation curves for bolted angle connections, *Proceeding of CE2008 of the Kenya*, No.2, pp.323-334, September, 2008
48. K.Nogami, K.Miyashita, T.Yamasawa(Kajima Const.), M.Nagai(Nagaoka Univ. of Tech.) : The stability verification and the stiffening method of web panel of I-girder bridges subjected to patch loadings, *Journal of Eurosteel*, No.5, pp.1677-1682, September, 2008

47. J.M.Matavo(Kenya), T.Yamasawa(Kajima Const.), K.Nogami : Prediction of the moment-rotation behaviour for flush and plate connections, *Journal of Eurosteel*, No.5, pp.585-590, September, 2008
46. S.Murakami, K.Nogami, T.Yamasawa, Y.Morizono(Chodai Co.), M.Nagai(Nagaoka Univ. of Tech.) : Ultimate strength behavior of steel cable-stayed bridges with tower height of 1/10 and 1/5 of center span length, *Proceeding of the 7th International symposium on steel bridges*, No.7, pp.II-165 - II-172, June, 2008
45. K.Nogami (co-authored) : Discussion on the future prospects of the performance-based design, *Japan-Korea Forum on Performance-based Design for Steel Structures*, January 2008
44. K.Nogami : Some topics on ultimate strength of cable-stayed bridges, *Korea-Japan code-workshop*, pp.1-11, CD-ROM, 2007
43. K.Miyashita, T.Yamasawa, K.Nogami : The stability verification and the stiffening method of web panel of I-girder bridges subjected to patch loadings, *Proceeding of the tenth Japan-Korea joint seminar on steel bridges*, No.10, 2007
42. T.Yoda(Waseda Univ.), K.Nogami : JSCE specifications for steel and composite structures, *Thailand-Japan joint seminar on steel and composite bridges*, pp.1-11, 2007
41. K.Nogami, T.Yoda(Waseda Univ.) : JSCE specifications for steel and composite structures, *China-Japan joint seminar on steel and composite bridges*, pp.1-11, 2007
40. K.Nogami, T.Yoda(Waseda Univ.) : Standard specifications for steel and composite structures –Performance-based design of JSCE–, *Vietnam-Japan joint seminar on steel bridges*, pp.1-10, 2006
39. M.Nagai(Nagaoka Univ. of Tech.), K.Nogami, T.Yamasawa, Y.Morizono(Chodai Co.) : Ultimate strength of steel cable-stayed bridges with tower height of 1/10 of center span length, *Proceeding of International colloquium on stability and ductility of steel structures*, Lisbon, 2006
38. J.M.Matavo, T.Yamasawa, K.Nogami : Developing flush end-plate connection M- θ curves, *Proceeding of International colloquium on stability and ductility of steel structures*, Lisbon, Vol.1, pp.485-492, 2006
37. M.Nagai(Nagaoka Univ. of Tech.), K.Nogami, Y.Akimoto, T.Iwasaki : Comparative study on ultimate strength of super long-span self-anchored and partially earth-anchored cable-stayed bridges, *Proceeding of the International conference on bridge engineering*, Hong Kong, 2006
36. K.Nogami, A.Someya, T.Yamasawa, M.Nagai(Nagaoka Univ. of Tech.) : Elasto-plastic behaviors of four long-span center suspension bridges and selection of flexural rigidity of steel structures, *Proceeding of the International conference on bridge engineering*, Hong Kong, 2006
35. J.M.Matavo, T.Yamasawa, K.Nogami : Developing Moment-Rotation curves for bolted angle connection, *The 10th East Asian Conference on Structural Engineering Construction*, Vol.2, pp.77-82, 2006
34. M.Nagai(Nagaoka Univ. of Tech.), Y.Morizono(Chodai Co.), K.Nogami, Y.Fujino : Comparative study of steel cable stayed bridge with tower heights of 1/5 and 1/10 of a center span length, *Proceeding of the 6th International symposium on steel bridges*, No.6, pp.130-136, 2006
33. Matavo. J.M., Yamasawa T., Nogami K. : Developing moment-rotation model equations for top-and seat-angle with double web angle connections, *Journal of constructional steel*, Vol.14, pp.631-638, 2006

32. Mativo. J.M., Nogami K., Yamasawa T. : Generating semirigid connection moment-rotation data of Top & seat angle with double web angles, *Journal of constructional steel*, Vol.13, pp.411-416, 2005
31. J.M.Matavo, T.Yamasawa, K.Nogami : Generating moment-rotation curves for connections and finite element models, *Proceeding of the ninth Japan-Korea joint seminar on steel bridges*, No.9, pp.341-350, 2005
30. K.Nogami, Y.Akimoto, T.Yamasawa, Y.Morizono(Chodai Co.), M.Nagai(Nagaoka Univ. of Tech.) : Ultimate behaviors and strength of steel cable-stayed bridges with a tower height-to-span ratio of 1/10, *Journal of Eurosteel*, No.4, Vol.B, pp.4.7-1-4.7-8, 2005
29. T.Yamasawa, K.Nogami, M.Oguri : Evaluation of capacity loss due to corrosion damages in steel column and beam members, *Proceeding of the eighth Korea-Japan joint seminar on steel bridges*, No.8, pp.231-236, 2003
28. Y.Akimoto, K.Nogami, T.Iwasaki, M.Nagai(Nagaoka Univ. of Tech.): A Comparative study on ultimate behaviours and strength of partially earth-anchored and self-anchored cable-stayed bridges, *Proceeding of the eighth Korea-Japan joint seminar on steel bridges*, No.8, pp.287-294, 2003
27. M.Nagai(Nagaoka Univ. of Tech.), E.Iwasaki, K.Nogami : Effect of inelastic behavior of cables on ultimate behavior and strength of 600-meter steel cable stayed bridge, *Proceeding of Second MIT Conference on Computational Fluid and Solid Mechanics*, pp.506-508, 2003
26. T.Yamasawa, K.Nogami, C.Miki(Tokyo Inst. of Tech.) : Study on FEM based bridge design for continuous composite girder bridges, *The Eighth East Asian Conference on Structural Engineering Construction*, No.1196, 2001
25. T.Iwasaki, K.Nogami, M.Nagai(Nagaoka Univ. of Tech.) : The ultimate strength and behavior of partially earth anchored cable-stayed bridge, *The Eighth East Asian Conference on Structural Engineering Construction*, No.1148, 2001
24. K.Nogami, T.Nakanishi, M.Nagai(Nagaoka Univ. of Tech.) : Rational combination of safety factors of cables, hangers and towers in a 3000-meters super long-span steel suspension bridge, *The Eighth East Asian Conference on Structural Engineering Construction*, No.1090, 2001
23. M.Nagai(Nagaoka Univ. of Tech.), K.Nogami, H.Yamaguchi(Saitama Univ.), E.Iwasaki : Effect of safety factors of Main cables and hangers on static and dynamic instabilities of 3000-meter long-span suspension bridges, *Proceeding of the sixth Pacific Structural Steel Conference*, Vol.2, pp.845-849, 2001
22. T.Yamasawa, K.Nogami, H.Oguri, M.Kato(Kensetu Gijitu Const.) : Evaluation of capacity loss due to corrosion damages in steel column and beam members, *Proceeding of sixth Pacific Structural Steel Conference*, Vol.1, pp.284-289, 2001
21. H.Iwasaki, K.Nogami, M.Nagai(Nagaoka Univ. of Tech.) : The In-plane load-carrying capacity of partially earth-anchored cable-supported bridges, *Proceeding of the sixth Korea-Japan joint seminar on steel bridges*, No.6, pp.255-263, 2001
20. M.Nagai(Nagaoka Univ. of Tech.), H.Yamaguchi(Saitama Univ.), K.Nogami, Y.Fujino(Univ. of Tokyo) : Effect of cable size on static and dynamic instabilities of long-span cable-stayed bridges, *Proceeding of the IABSE*, Vol.98, 2001

19. H.Iwasaki, K.Nogami, M.Nagai(Nagaoka Univ. of Tech.) : Precision of E_f method for evaluating load-carrying capacity of long-span cable-stayed bridges and its ultimate strength check, *Proceeding of the IABSE*, Vol.98, 2001
18. K.Nogami, H.Nishide, M.Nagai (Nagaoka Univ. of Tech.): Ultimate strength analysis of steel tower of 3000-meter super long-span suspension bridge based on rigid-body spring model, *Proceeding of the IABSE*, Vol.98, 2001
17. M.Nagai(Nagaoka Univ. of Tech.), H.Yamaguchi(Saitama Univ.), K.Nogami : Effect of inelastic cables on ultimate behavior and strength of steel cable-stayed bridges, *Proceeding of the steel structures of the 2000's*, Istanbul, pp.215-220, 2000
16. T.Yamasawa, K.Nogami, C.Miki(Tokyo Inst. of Tech.) : Elasto-plastic behavior of stiffener at the intermediate support in steel continuous composite girder bridges, *Proceeding of the 5th Korea-Japan joint seminar on steel bridges*, No.5, pp.49-56, 1999
15. K.Nogami,K.Shibata(Sumitomo Const.), N.Nagai(Nagaoka Univ. of Tech.) : On the accuracy of the effective tangent modulus method for evaluating the ultimate strength of long-span cable-stayed bridge, *Proceeding of the 5th Korea-Japan joint seminar*, No.5, pp.67-74, 1999
14. M.Nagai(Nagaoka Univ. of Tech.), Y.Niida(Miyaji iron works), X.Xie(Saitama Univ.), H.Yamaguchi (Saitama Univ.), K.Nogami : Ultimate behavior and strength of steel cable-stayed girders based on elasto-plastic finite displacement analysis, *Proceeding of the 1st international conference on advances in structural engineering mechanics steel structure*, Vol.1, No.2, pp.487-492, 1999
13. M.Nagai(Nagaoka Univ. of Tech.), X.Xie(Saitama Univ.), H.Yamaguchi(Saitama Univ.), K.Nogami : Effect of Girder Depth on Ultimate Behavior and Strength of Long-Span Steel Cable-Stayed Bridges Based on Elasto-Plastic Finite Displacement Analysis, *Proceeding of the 2nd European conference on steel structure*, Prague/Czech republic, Vol.2, pp.379-382, 1999
12. X.Xie(Saitama Univ.), M.Nagai(Nagaoka Univ. of Tech.), H.Yamaguchi(Saitama Univ.), K.Nogami, Y.Niida(Miyaji Tekkou) : Elasto-Plastic Behavior and Ultimate Strength of 1400-meter Long-Span Steel Cable-Stayed Bridges, *Nordic Steel Construction Conference 98*, Vol.2, pp.573-578, 1998
11. X.Xie(Saitama Univ.), H.Yamaguchi(Saitama Univ.), M.Nagai(Nagaoka Univ. of Tech.), K.Nogami : Effect of Safety Factor of Main Cable on Ultimate Behavior and Strength of Long-span Suspension Bridges, *the Pacific Structural Steel Conference'98*, No.5, Vol.1, pp.559-564, 1998
10. M.Nagai(Nagaoka Univ. of Tech.), X.Xie(Saitama Univ.), H.Yamaguchi(Saitama Univ.), K.Nogami : Effect of Inelastic Behavior of Cables on Ultimate Strength of Long-Span Steel Cable-Stayed Bridges, *the Pacific Structural Steel Conference'98*, No.5, Vol.1, pp.565-570, 1998
9. K.Nogami, M.Nagai (Nagaoka Univ. of Tech.), H.Kinoshita (Shibaura Ins. of tech.), K.Yamamoto (Shibaura Ins. of tech.), Y.Fujino (Univ. of Tokyo) : Inelastic Buckling Behaviors of Long-Span Cable-Stayed Bridges and It's Stability check, *The Sixth East Asian Conference on Struc. Eng. Const.*, Vol.3, pp.2143-2148, 1998
8. K.Nogami, M.Nagai(Nagaoka Univ. of Tech.), K.Yamamoto(Shibaura Ins. of tech.), Y.Fujino (Univ. of Tokyo) : Load-Carrying Capacity of Cable-Stayed Girders based on Multiple Ultimate Strength Curves of Columns and Its Stability Check, *International Conference on Coupled Instabilites in Metal Structures*, Vol.2, pp.421-428, 1996

7. K.Nogami, N.Narita, M.Nagai(Nagaoka Univ. of Tech.), Y.Fujino(Uiv. of Tokyo) : Buckling Design Method for Steel Cable-Stayed Bridges in Japan, *International Colloquium on Stability and Ductility of Steel Structures*, Vol.5, pp.1031-1036, 1996
6. K.Nogami, N.Narita, T.Yoda(Waseda Univ.) : Buckling Design Method for Steel Bridges in Japan, *Japanese-German Colloquium for Steel and Composite Bridges*, Vol.2, pp.1-8, 1996
5. K.Nogami, N.Narita : On Equivalent Initial Imperfection of Framed Members for New Design, Procedure using Finite Displacement Analysis, *The Fifth East Asian Conference on Struc. Eng. Const.*, Vol.1, pp.115-120, 1995
4. M.Nagai(Nagaoka Univ. of Tech.), K.Nogami, K.Asano(Nagaoka Univ. of Tech.) : Evaluation of Ultimate Strength of Steel Cable-Stayed Bridges by the Effective Tangential Modulus (E_f) Method, *The Conference of New Requirements for Structures their Reliability*, pp.213-218, 1994
3. K.Nogami, N.Narita : A Study on the Stability Design of Towers for Cable-Stayed Bridges, *The Fourth East Asian Conference on Struc. Eng. Const.*, Vol.1, pp.1001-1006, 1993
2. K.Nogami : The Limit Analysis of the Tapered Structural Members and Frames by the New Discrete Model, *World Congress on Computation and Applied Mathematics*, Vol.13, pp.1891-1892, 1991
1. K.Nogami, F.Itoh : On the Tracing Calculation of the Equilibrium Path for Imperfect Systems, *The First East Asian Conference on Structural Engineering Construction*, Vol.1, pp.216-227, 1986

著 書

30. 野上邦栄, 他 (共著) : 都市の技術, 技報堂出版, 2016.3
29. 野上邦栄, 他 (共著) : 鋼橋の性能評価と強度設計の合理化, 鋼橋の合理化構造・耐久性向上研究委員会合理化構造・設計法部会報告書, 日本構造協会, JSSC テクニカルレポート, No.105, 2015
28. 野上邦栄, 他 (共著) : 腐食した鋼構造物の性能回復事例と性能回復設計法, 土木学会, 鋼構造シリーズ 20, 2014.8
27. 野上邦栄, 他 (共著) : 鋼橋の強度設計の合理化, 日本構造協会, JSSC テクニカルレポート, No.98, 2013.3
26. 野上邦栄, 他 (共著) : 土木鋼構造物の震災後の点検診断対策技術, (社) 日本鋼構造協会, 土木鋼構造診断士テキスト別冊, 2012.7
25. 野上邦栄, 他 (共著) : 鋼構造架設設計施工指針【2012】, 土木学会, 2012.5
24. K.Nogami (co-authored): Standard specifications for steel and composite structures, *JSCE*, 2010.3
23. 野上邦栄, 他 (共著) : ハイブリッド桁の限界状態設計法試案, 日本鋼構造協会, JSSC テクニカルレポート, No.83, 2009.9
22. 野上邦栄, 他 (共著) : 土木鋼構造物の点検・診断・対策技術, 日本鋼構造協会, 2009.6
21. 野上邦栄, 他 (共著) : 海洋環境における鋼構造物の耐久・耐荷性能評価ガイドライン, 土木学会, 構造工学シリーズ 19, 2009.3
20. 野上邦栄, 他 (共著) : 腐食した鋼構造物の耐久性照査マニュアル, 土木学会, 鋼構造シリーズ 18, 2009.3
19. 野上邦栄, 他 (共著) : 鋼・合成構造標準示方書 総則編・構造計画編・設計編, 土木学会, 2007.3
18. 野上邦栄, 他 (共著) : 鋼橋の疲労耐久性向上・長寿命化技術, 日本鋼構造協会, JSSC テクニカルレポート, No.71, 2006.11
17. 野上邦栄, 他 (共著) : 合成桁の限界状態設計法試案, 日本構造協会, JSSC テクニカルレポート, No.70, 2006.10
16. 野上邦栄, 他 (共著) : 土木鋼構造物の点検・診断・対策技術, 日本鋼構造協会, 2006.10
15. 野上邦栄, 他 (共著) : 座屈基礎講座, 土木学会, 2006.1
14. 野上邦栄, 他 (共著) : 土木鋼構造物の点検・診断・対策技術, 日本鋼構造協会, 2005.11
13. 野上邦栄, 他 (共著) : 座屈設計ガイドライン, 土木学会, 2005.10
12. 野上邦栄, 他 (共著) : 構造工学における有限要素法の基礎と応用, 土木学会, 2005.9
11. 野上邦栄, 他 (共著) : 鋼構造 (鋼橋) 設計標準の国際統合化ガイドライン - 設計編, 日本鋼構造協会, JSSC テクニカルレポート, JSS IV-05, 2004.11
10. 野上邦栄, 他 (共著) : 橋梁用高力ボルト引張接合設計指針, 日本鋼構造協会, JSSC テクニカルレポート, JSS IV-06, 2004.9
9. 野上邦栄, 他 (共著) : 鋼橋の維持管理とそれを支える要素技術, 日本鋼構造協会, JSSC テクニカルレポート, No.44, 2002
8. 野上邦栄, 他 (共著) : 既設鋼橋部材の耐力・耐久性診断と補修・補強に関する資料集 (鋼橋の維持管理とそれを支える要素技術), 日本鋼構造協会, JSSC テクニカルレポート, No.44, 2002.1
7. 野上邦栄, 他 (共著) : 都市の技術, 技報堂出版, 2001.5
6. 野上邦栄, 他 (共著) : 土木用語大辞典, 技報堂出版, 1999.2
5. 野上邦栄, 他 (共著) : 鋼橋の未来, 技報堂出版, 1998.9

4. 野上邦栄, 他 (共著) : 鋼構造物設計指針 —一般構造物—, 土木学会, 1997.5
3. 野上邦栄, 他 (共著) : 構造工学における計算力学の基礎と応用, 土木学会, 1996
2. 野上邦栄, 他 (共著) : 鋼構造物の終局強度と設計, 土木学会, 1994.7 .12
1. 野上邦栄, 川井忠彦 : 鋼構造部材と骨組の離散化極限解析, 培風館, 1991.6

雑誌/大学紀要/委員会報告書

44. 野上邦栄：国際化と鋼構造の ISO 基準化, 巻頭言, 東京鐵鉄骨橋梁, 2016
43. 野上邦栄, 他 (共著)：老朽化に向かう都市インフラ施設の長期安全性確保に関する研究、アジア高度研究報告書、2015.9
42. 野上邦栄, 他 (共著)：老朽化した都市インフラ施設の延命化マニュアル、アジア高度研究報告書、2015.9
41. 野上邦栄：JSSC の今後の国際活動の展開にむけて、鋼構造技術情報誌 (JSSC) 2015.9
40. 野上邦栄, 他 (共著)：鋼橋の長寿命化に関する調査研究, 土木学会鋼構造委員会鋼橋の長寿命化に関する調査研究小委員会報告書, 2015.10
39. 野上邦栄：激動の 10 年間とこれからの望むこと, 鋼橋技術研究会 30 周年記念誌, 鋼橋技術研究会, 2015
38. 野上邦栄：鋼橋の技術継承に思う, 巻頭言, 宮地鉄工所, 2015
37. 野上邦栄：鋼橋の耐久設計に思う, 巻頭言, Structural painting, 2014
36. (独) 土木研究所, 首都大学東京, 早稲田大学:腐食劣化の生じた実橋梁部材を活用した鋼トラス橋の耐荷性能評価手法に関する研究, 国土交通省建設技術開発費補助金総合研究報告書, 2013
35. 野上邦栄：鋼橋の長寿命化方策の動向に思う, 巻頭言, 橋梁と基礎 (建設図書), Vol45, 2013
34. (独) 土木研究所, 首都大学東京, 早稲田大学:腐食劣化の生じた橋梁部材の耐荷性能評価手法に関する共同研究報告書 ~ 腐食劣化の生じた鋼トラス橋格点部の FEM 解析~, 土木研究所共同研究報告書, 第 429, 2012
33. 野上邦栄, 他 (分担執筆)：鋼・合成構造標準示方書に基づく新たな設計, 土木学会鋼構造委員会合成桁の限界状態に関する調査検討小委員会, 2009
32. 野上邦栄, 他 (分担執筆)：技術情報部会活動報告書, 鋼橋技術研究会技術情報部会, 2009
31. 野上邦栄, 他 (分担執筆)：鋼・合成構造標準示方書総則編・構造計画編・設計編の概要, 上, 下, 橋梁と基礎 (建設図書), Vol42, pp.47-52, Vol43, pp.47-52, 2008
30. 塩野計司, 野上邦栄:一般国道 351 号長生橋健全度調査業務報告書, 長岡市, 2008
29. 野上邦栄, 他 (分担執筆):沿岸における鋼・複合構造物の防食および耐久性能評価に関する研究, 土木学会構造工学委員会沿岸における鋼・複合構造物の防食および耐久性能評価に関する研究小委員会, 2008
28. 野上邦栄, 他 (分担執筆):腐食した鋼構造物の残存耐荷性能評価および性能回復技術, 土木学会鋼構造委員会鋼構造の残存耐荷性能と耐久性向上方策研究小委員会, 2007
27. 野上邦栄, 他 (分担執筆)：平成 18 年度設計部会活動報告書, 鋼橋技術研究会, 設計部会, 2006
26. 野上邦栄：腐食により撤去した鋼トラス橋部材の残存耐荷性能, ウェザリング技術研究成果発表会テキスト, pp.115-138, 2004
25. 野上邦栄：非線形解析の理論と実際, 土木学会構造工学における有限要素法の基礎と応用講習会テキスト, 土木学会構造工学委員会継続教育小委員会, pp.153-179, 2003
24. 野上邦栄：非線形解析の理論と実際, 土木学会構造工学における有限要素法の基礎と応用講習会テキスト, 土木学会構造工学委員会継続教育小委員会, pp.115-138, 2004
23. 野上邦栄, 他 (分担執筆)：平成 14 年度技術情報部会活動報告書, 鋼橋技術研究会技術情報部会, 2003
22. 野上邦栄, 他 (分担執筆)：平成 14 年度設計部会活動報告書, 鋼橋技術研究会設計部会, 2003
21. 野上邦栄, 他 (分担執筆)：技術標準の国際化に関する北米調査報告書, 土木学会 ISO 対応特別委員会誌 ISO ジャーナル, Vol.7, 2002

20. 野上邦栄, 他 (分担執筆) : 鋼構造に関する国際規準調査・分析報告書, 土木学会鋼構造委員会鋼構造に関する国際規格調査研究小委員会, 2002
19. 野上邦栄, 他 (分担執筆) : 鋼構造の限界強度・保有性能の評価方法に関する研究, 土木学会鋼構造委員会鋼構造の限界強度・保有性能の評価方法に関する研究小委員会, 2002
18. 野上邦栄, 他 (分担執筆) : 技術標準の国際化に関する北米調査報告書, 土木学会 ISO 対応特別委員会誌 ISO ジャーナル, Vol.7, 2002
17. 野上邦栄, 他 (分担執筆) : 欧州調査報告書, 土木学会 ISO 対応特別委員会誌 ISO ジャーナル, Vol.6, 2001
16. 野上邦栄 : 設計国際標準の最新動向—鋼構造分野—, 土木学会「ISO への対応」第 4 回シンポジウムテキスト, Course.116, pp.53-62, 2001
15. 野上邦栄, 他 (分担執筆) : 限界状態設計法の書式による鋼道路橋設計指針, 鋼橋技術研究会限界状態設計法研究部会, 1998
14. 野上邦栄, 他 (分担執筆) : 土木工学におけるコンピュータの高度利用技術, 土木学会構造工学委員会計算機高度利用小委員会, 1998
13. 野上邦栄, 他 (分担執筆) : 終局耐力に関する研究, 土木学会鋼構造委員会鋼構造新技術小委員会, 1996
12. 野上邦栄, 他 (分担執筆) : 平成 7 年度設計部会活動報告書, 鋼橋技術研究会設計部会, 1995
11. 野上邦栄, 他 (分担執筆) : 骨組構造物の座屈設計法に関するフォーラム (下), 橋梁と基礎 (建設図書), 第 29 巻, 第 1 号, pp.37-45, 1995
10. 野上邦栄, 他 (分担執筆) : 骨組構造物の座屈設計法に関するフォーラム (上), 橋梁と基礎 (建設図書), 第 28 巻, 第 12 号, pp.41-45, 1994
9. 平成 2, 3 年度設計部会報告書, 鋼橋技術研究会設計部会, 1991
8. 野上邦栄, 他 (分担執筆) : 構造工学における計算機利用と数値解析に関するアンケート調査報告書, 土木学会構造工学委員会非線形解析小委員会, 1989
7. K.Nogami : An Efficient Procedure to Search for the Minimum Value with Many Inequality Constrained Conditions, *Memoirs of Faculty Technology of Tokyo Metro. Univ.*, No.40, pp.99-108, 1990
6. K.Nogami : Formulation of Rigid-Bar Element Model and Its Application to the Thin-Walled Structural Members, *Memoirs of Faculty of Technology of Tokyo Metro. Univ.*, No.38, pp.85-98, 1988
5. 伊藤文人, 野上邦栄, 長嶋文雄 : 鋼橋における新離散化モデルの応用, 生研セミナーテキスト, pp.381-443, 1986
4. K.Nogami, F.Itoh : Ultimate Strength Analysis of Beam-Column by Rigid-Bar Element Model, *Memoirs of Faculty of Technology of Tokyo Metro. Univ.*, No.35, pp.67-79, 1985
3. K.Nogami, F.Itoh : Analysis of Ultimate Strength of Column using FREM, *Memoirs of Faculty of Technology of Tokyo Metro. Univ.*, No.31, pp.53-61, 1981
2. K.Nogami, F.Itoh : Die Verlängerungs Steifigkeit von Seilen unter Berücksichtigung des Durchhangs, *Memoirs of Faculty of Technology of Tokyo Metro. Univ.*, No.28, pp.55-66, 1977
1. K.Nogami, F.Itoh : Torsionsanalysis des Parallel-drahtkabels, *Memoirs of Faculty of Technology of Tokyo Metro. Univ.*, No.27, pp.61-71, 1976

社会貢献

講演

70. ISO 規格化攻勢に対する鋼構造分野の戦略, 土木 ISO セミナー, 土木学会 ISO 対応特別委員会, 2016.1
69. 社会インフラのメンテナンスの重要性と今後の展望, 道路メンテナンス基礎講習会, 東京都道路整備保全公社, 2016.1
68. 鋼トラス橋格点部および圧縮斜材の残存耐荷性能評価, SGST 定期研究会, 2015.12
67. 腐食損傷の生じた鋼トラス橋部材の残存耐荷性能評価手法に関する開発研究, 日本鉄鋼連盟「鋼構造研究・教育助成事業」研究助成発表会, pp.249-266, 2015.9
66. 鋼橋の合理的な構造設計法に関する調査研究, 鋼構造と橋に関するシンポジウム, NO18, 土木学会, 2015.8
65. 鋼構造委員会の維持管理・更新に関する活動, 鋼橋の性能照査型維持管理とモニタリングに関する調査研究小委員会, 土木学会, 2015.6
64. 鋼構造物の維持管理・更新に貢献する技術開発の現状と今後の展望, 社会インフラメンテナンスシンポジウム, 土木学会, 2015.1
63. 構造計算, 東京都橋梁専門技術研修テキスト, 東京都道路整備保全公社, 2014.10
62. 腐食損傷の生じた鋼トラス橋部材の残存耐荷性能評価手法に関する開発研究, 日本鉄鋼連盟「鋼構造研究・教育助成事業」研究助成中間発表会, 2014.9
61. 腐食した鋼構造物の性能回復事例と性能回復設計法, 老朽化した鋼構造物の長寿命化のための性能回復技術検討小委員会講習会, 2014.8, 9
60. 鋼橋の未来に向けての合理的な構造設計法について, 土木学会鋼構造基礎講座, 鋼構造委員会鋼構造継続教育推進小委員会, 2013
59. 構造計算, 東京都橋梁専門技術研修テキスト, 東京都道路整備保全公社, 2013
58. 隅田川の歴史と橋めぐり ~ 両国から北千住 ~, 首都大学東京オープンユニバーシティ, 2013
57. 実橋箱断面圧縮部材の耐荷力特性評価と基準耐荷力曲線の改訂に関する開発研究, 日本鉄鋼連盟「鋼構造研究・教育助成事業」研究助成発表会, 2013
56. 鋼トラス橋格点部の残存耐荷力載荷試験, 日本鋼構造協会鋼橋の合理化構造・設計法研究委員会合理化構造・設計法研究部会, 2013
55. 高強度鋼材の安全率について, 日本鋼構造協会鋼橋の合理化構造・設計法研究委員会合理化構造・設計法研究部会幹事会, 2013
54. 長寿命化への挑戦 -部材の残存耐荷力評価-, 東京都土木技術支援・人材育成センター発表会, 2012
53. 構造計算, 東京都橋梁専門技術研修テキスト, 東京都道路整備保全公社, 2012
52. 神田川、日本橋川と亀島川の歴史と橋めぐり, 首都大学東京オープンユニバーシティ, 2012
51. 実橋箱断面圧縮部材の耐荷力特性と複数耐荷力曲線の適用に関する開発研究, 日本鉄鋼連盟鋼構造研究・教育助成事業一般テーマ研究助成中間報告書, 2012
50. 維持管理の現状と鋼トラス橋格点部の腐食損傷, 土木学会鋼構造委員会鋼構造の長寿命化に関する検討小委員会, 2012
49. 都市基盤環境学域の高度研究戦略, ISSUE, 2011
48. 鋼構造物の維持管理の動向とトラス橋格点部の腐食計測, 鋼構造物の維持管理と性能回復に関する技術交流会, 土木学会, 2011

47. 道路橋床版の性能はどう変わるか, 土木学会全国大会研究討論会, 2011
46. 隅田川と小名木川の橋と歴史 ~ 隅田川の橋めぐり ~, 首都大学東京オープンユニバーシティ, 2011
45. 構造計算, 東京都橋梁専門技術研修テキスト, 東京都道路整備保全公社, 2011
44. 道路橋床版の性能はどう変わるか, 土木学会全国大会研究討論会, 2011
43. トラス橋格点部の腐食計測と損傷状況, 鋼構造物の維持管理と性能回復に関する技術交流会, 土木学会, 2011
42. 社会資本ストックの長寿命化に向けた戦略的維持管理に関する技術開発, 首都大学東京都市科学連携機構施策提案発表会, 2010
41. 腐食損傷の激しい鋼トラス橋のガセット部のすきま腐食計測とその形状評価, 「鋼構造研究・教育助成事業」研究発表会, 日本鉄鋼連盟, 2010
40. 構造計算, 東京都橋梁専門技術研修テキスト, 東京都道路整備保全公社, 2010
39. Elasto-plastic behavior and ultimate strength of cable-stayed bridge with tower height of 1/10 of span length, Hanyang University, Korea, 2010
38. Ultimate strength of 4 and 5 super long-span suspension bridge, Hanyang University, Korea, 2010
37. 隅田川の橋めぐり - 橋の構造と歴史 -, 首都大学東京オープンユニバーシティ, 2010
36. Ultimate strength of multi super long-span suspension bridge, Super long span bridge authority, Korea, 2010
35. 鋼構造物の腐食耐久性照査マニュアル, 土木学会中部支部, 2010
34. 橋が危ない、長寿命化への挑戦, 首都大学東京オープンユニバーシティ, 2010
33. Ultimate strength of multi-span suspension bridge, Hanyang University, Korea, 2010
32. すきま腐食した既設鋼構造部材の耐荷性能評価の確立に向けた実験的・解析的研究, 日本鉄鋼連盟土木鋼構造教育助成研究成果中間報告書, 2010
31. 腐食劣化した橋梁部材の耐荷性能の評価手法, 日本橋梁建設協会ブリッジトーク, 2009
30. 腐食劣化した鋼構造物の耐荷性能の評価手法に関する研究, 首都大学東京南大沢キャンパス産学公交流会, 2009
29. 日本の老朽橋の寿命は、あと何年?, 首都大学東京オープンユニバーシティ, 2009
28. 海洋環境における鋼構造物の耐久・耐荷性能予測ガイドラインおよび鋼構造物の腐食耐久性照査マニュアル, 土木学会, 2009
27. 腐食した鋼圧縮部材の残存耐力実験とその評価, 銚子整備事務所, 2008
26. 腐食した鋼部材の残存耐力評価システムの構築に関する研究, 首都大学東京南大沢キャンパス産学公交流会 2008, 2008
25. 鉛直局部荷重を受ける合理化桁腹板のクリッピングとその安全性照査, 土木学会, 2008
24. 腐食した鋼圧縮部材の残存耐力実験とその評価, 日本橋梁建設協会, 2008
23. 腐食部材の残存耐力評価と今後の課題, 経年劣化度・残存耐力評価研究会, 2008
22. 座屈解析 ~ 座屈現象とその解析法 ~, 土木学会, 2008
21. 腐食した柱部材の残存耐力, 日本橋梁建設協会, 2007
20. 鋼・合成構造標準示方書, 土木学会, 2007
19. 合成構造と設計法の動向, 京都大学, 2006

18. 座屈基礎講座, 土木学会, 2006
17. 非線形解析の理論と実際, 土木学会, 2005
16. 第7章損傷部材の評価、鋼構造土木診断士講習会, 日本鋼構造協会, 2005
15. 座屈設計ガイドライン, 土木学会, 2005
14. 鋼構造(鋼橋)設計標準の国際統合化ガイドライン - 設計編, 日本鋼構造協会, 2004
13. 腐食により撤去した鋼トラス橋部材の残存耐荷性能, ウェザリング技術研究成果発表会, 2004
12. 非線形解析の理論と実際, 土木学会, 2004
11. 橋梁用高力ボルト引張接合設計指針の改訂, 日本鋼構造協会, 2004
10. 腐食鋼構造物に維持管理と残存耐荷性能, 炭素繊維補修・補強工法技術研究会, 2004
9. 非線形解析の理論と実際, 土木学会, 2004
8. 腐食部材の残存耐荷性能と防食設計体系, 日本橋梁建設協会, 2003
7. 鋼橋の維持管理とそれを支える要素技術, 日本鋼構造協会, 2002
6. 海外における鋼構造物の設計技術規準の現状, 土木学会, 2002
5. 鋼橋の維持管理とそれを支える要素技術, 日本鋼構造協会, 2002
4. 国際標準欧州調査について, 土木学会, 2001
3. 最近のコンピュータの有効利用, 土木学会, 1998
2. 土木技術者のための鋼構造設計法, ソフト技研, 1995
1. 鋼構造物の終局強度と設計, 土木学会, 1994

学協会などの活動

90. 日本鋼構造協会・鋼橋の強靱化・長寿命化研究委員会合理化設計研究部会委員(2015.5~現在)
89. 土木学会・鋼構造委員会・鋼橋の性能照査型維持管理とモニタリングに関する調査研究小委員会委員(2015.4~現在)
88. 土木学会・鋼構造委員会・鋼・合成構造標準示方書設計改定小委員会委員(2014.6~現在)
87. 日本鋼構造協会・広報・普及委員会委員(2014.4~現在)
86. 日本鋼構造協会・運営委員会委員(2014.4~現在)
85. 日本鋼構造協会・国際委員会委員長(2014.4~現在)
84. NEXCO 中日本八王子支社・八王子保全サービスセンターとの技術意見交換会委員(2014.2~現在)
83. 日本鋼構造協会・鋼橋の合理化構造・耐久性向上研究委員会合理化構造設計法部会委員(2013.8~2015.3)
82. 日本道路協会・橋梁委員会・鋼橋小委員会鋼橋部分係数設計法ワーキング主査(2013.6~現在)
81. 土木学会・鋼構造委員会委員長(2013.6~2015.5)
80. 国土交通省国土技術政策総合研究所コンプライアンス・アドバイザー委員会委員(2013.5~2015.8)
79. 国土交通省国土技術政策総合研究所委託業務・工事成績評定審査委員会委員(2013.5~2015.8)
78. 日本鋼構造協会・土木鋼構造診断士専門委員会・更新・広報小委員会委員(2013.4~現在)
77. 国土交通省国土技術政策総合研究所入札監視委員会委員(2012.12~2015.8)
76. 土木学会・鋼構造委員会・鋼構造物の合理化設計に関する小委員会委員長(2012.10~2014.9)
75. 土木学会・鋼構造委員会・アルミニウム合金土木構造物設計・製作指針作成検討小委員会委員(2012.6~2015.6)
74. 土木学会・鋼構造委員会・鋼・合成構造標準示方書小委員会委員(2012.4~2014.5)
73. 東京都豊島区橋りょう長寿命化修繕計画策定検討委員会委員(2011.10~2012.3)
72. 日本道路協会・橋梁委員会・鋼橋小委員会委員(2011.6~現在)
71. 日本道路協会・橋梁委員会・総括小委員会性能規定化ワーキング委員(2011.6~現在)
70. 日本道路協会・橋梁委員会・鋼橋小委員会鋼橋部分係数設計法ワーキング委員(2011.6~2013.5)
69. 土木学会・鋼構造委員会・東日本大震災鋼構造物調査特別委員会委員(2011.5~2102.3)
68. 土木学会・鋼構造委員会・構造物の長寿命化技術に関する検討小委員会副委員長(2011.3~2015.4)
67. 土木学会・東日本大震災特別委員会委員(2011.3~2012.3)
66. 土木学会・田中賞選考委員会委員(2010.7~2012.3)
65. 土木学会・鋼構造委員会・老朽化した鋼構造物の長寿命化のための性能回復技術検討小委員会委員(2010.6~2014.8)
64. 東京都港区橋りょう長寿命化修繕計画策定検討委員会委員長(2009.7~2010.3)
63. 東京都墨田区橋りょう長寿命化修繕計画策定検討委員会委員(2009.12~2010.3)
62. 日本鋼構造協会・鋼橋の合理化構造・設計法研究委員会合理化構造・設計法部会委員(2009.10~2012.3)
61. 土木学会・論文賞推薦委員会委員・選定委員(2009.7~2010.6)
60. 土木学会・鋼構造委員会・鋼構造架設設計施工指針改訂小委員会委員(2009.7~2011.3)

59. 土木学会・技術者資格評議会技術者資格委員会・上級・1級技術者資格小委員会委員・幹事(2009.4～2011.3)
58. 土木学会・鋼構造委員会・部材耐力の部分係数と安全性評価に関する検討小委員会委員(2009.1～2011.3)
57. 土木学会技術者教育プログラム審査委員会・JABEE認定継続審査チーム委員(2008.9～2008.11)
56. 土木学会・複合構造標準示方書小委員会委員(2008.5～2013.3)
55. 土木学会・出版委員会委員(2008.4～2011.5)
54. 土木学会・鋼構造委員会・合成桁の限界状態設計法に関する調査検討小委員会委員(2006.1～2009.9)
53. 日本鋼構造協会・土木鋼構造診断士特別委員会・土木鋼構造診断士専門委員会委員(2008.4～2012.3)
52. 日本鋼構造協会・鋼橋性能向上研究委員会合理化部会委員(2007.9～2009.5)
51. 土木学会・複合構造委員会委員(2007.7～2013.3)
50. 日本鋼構造協会・国際委員会委員(2007.12～2014.3)
49. 日本技術士会・技術士試験委員会委員(2006.4～2008.3)
48. 日本道路協会・橋梁委員会・鋼橋小委員会鋼橋部分係数設計法ワーキング委員(2006.1～2011.5)
47. 日本道路協会・橋梁委員会・総括小委員会スキームワーキング委員(2005.11～2011.5)
46. 日本鋼構造協会・国際委員会・国際規準整合化WG委員(2005.11～現在)
45. 東京都・たつみ橋交差点立体化工事設計・施工一括発注(技術提案型総合評価方式)技術審査委員会特別委員(2005.11)
44. 日本鋼構造協会・土木鋼構造診断士専門委員会・テキスト作成小委員会委員長(2005.4～2013.3)
43. 土木学会・鋼構造委員会・鋼・合成構造標準示方書小委員会委員兼幹事(2004.10～2010.5)
42. 土木学会・鋼構造委員会・鋼橋の残存耐荷性能評価と耐久性向上方策研究小委員会委員長(2004.3～2009.3)
41. 土木学会・鋼構造委員会・3次元FEM解析の鋼橋設計への適用に関する研究小委員会委員(2004.5～2007.5)
40. 土木学会・鋼構造委員会・鋼・合成標準示方書小委員会設計部会幹事長(2004.4～2010.5)
39. 日本鋼構造協会・学術委員会・鋼構造論文集編集小委員会委員長(2004.2～2008.2)
38. 土木学会・鋼構造委員会・鋼構造設計標準の国際化対応小委員会委員(2003.11～2006.3)
37. 土木学会・構造工学委員会・沿岸における鋼・複合構造物の防食および耐久性性能評価に関する研究小委員会委員(2003.11～2009.3)
36. 日本鋼構造協会・鋼橋性能向上研究委員会合理化設計法部会委員(2003.9～2006.4)
35. 日本鋼構造協会・鋼橋性能向上研究委員会耐久性部会委員(2003.9～2006.4)
34. 土木学会・鋼構造委員会・座屈設計ガイドライン改訂小委員会委員兼幹事(2002.4～2005.12)
33. 土木学会・技術者資格評議会技術者資格委員会・1級・2級技術者資格小委員会委員・幹事(2002.1～2005.12)
32. 土木学会・構造工学委員会・構造工学論文集編集小委員会部門分科会委員兼主査(2001.7～2005.3)
31. 本州四国連絡橋公団・海峡横断道路ケーブル安全率検討小委員会委員(2001.4～2003.3)
30. 日本技術士会・技術士試験委員会委員(2001.4～2003.3)

29. 日本鋼構造協会・鋼橋の性能照査型設計対応研究委員会安全性・使用性部会委員兼主査(2000.10～2002.12)
28. 日本鋼構造協会・技術委員会・既設建造物の耐久性評価法と補修・補強工法に関する研究小委員会委員兼副委員長(2000.10～2002.12)
27. 日本鋼構造協会・技術委員会・橋梁用高力ボルト引張接合設計指針(案)改訂小委員会委員兼主査(2000.7～2005.1)
26. 土木学会・鋼構造委員会委員・幹事(1999.11～2012.5)
25. 土木学会・鋼構造委員会・鋼構造の国際規格調査小委員会委員兼幹事長(1999.10～2002.8)
24. 日本鋼構造協会・国際委員会・鋼構造(鋼橋)に関する国際整合化規格作成小委員会委員(1999.4～2005.3)
23. 日本鋼構造協会・学術委員会・日本鉄鋼協会との交流企画小委員会委員(1999.4～2003.3)
22. 土木学会論文集編集委員会・第1小委員会委員(1998.6～2000.6)
21. 土木学会・鋼構造委員会・鋼構造の限界強度・保有性能の評価法に関する研究小委員会委員(1998.6～2002.5)
20. 日本溶接協会・塑性設計研究委員会・建造物および構造要素の最終強度小委員会委員,(1997.1～1998.6)
19. 日本溶接協会・塑性設計研究委員会・建造物および構造要素の最終強度小委員会委員(1997.1～1998.6)
18. 土木学会・構造工学委員会・計算機高度利用に関する研究小委員会委員兼幹事(1996.6～1998.10)
17. 土木学会・構造工学委員会・鋼製橋脚シンポジウム実行委員会委員(1996.12～1997.6)
16. 土木学会・構造工学委員会・構造工学震災調査特別小委員会WG2委員(1995.7～1998.8)
15. 土木学会・構造工学委員会・運営小委員会委員(1995.5～1996.6)
14. 鋼橋技術研究会・技術委員会・限界状態設計法部会委員(1995.4～1998.6)
13. 土木学会・構造工学委員会・構造工学論文集編集小委員会部門分科会委員(1993.7～1996.3)
12. 鋼橋技術研究会・技術委員会・技術情報部会委員兼幹事(1993.4～2006.10)
11. 土木学会・構造工学委員会・計算力学とその応用に関する研究小委員会委員兼幹事(1992.8～1996.12)
10. 土木学会・鋼構造委員会・鋼構造物設計指針小委員会委員兼幹事(1992.2～1997.5)
9. 海洋架橋調査会・本州四国連絡橋鋼上部構造委員会委員(1991.4～1998.12)
8. 鋼橋技術研究会・技術委員会・設計部会委員兼部会長(1991.4～2011.3)
7. 土木学会・構造工学委員会・構造システム最適化研究小委員会委員(1991.1～1992.3)
6. 土木学会・構造工学委員会・非線形解析小委員会委員(1989.7～1992.3)
5. 海洋架橋調査会・本州四国連絡橋鋼上部構造委員会・構造分科会委員(1989.5～1998.10)
4. 海洋架橋調査会・本州四国連絡橋の鋼上部構造に関する予備検討委員会委員(1989.2～1989.3)
3. 土木学会・鋼構造委員会・鋼構造終局強度研究小委員会委員兼幹事(1988.5～1994.8)
2. 土木学会・鋼構造委員会・鋼構造終局強度研究小委員会終局強度設計分科会委員兼幹事(1988.5～1994.8)
1. 土木学会・構造工学委員会・構造力学小委員会委員(1982.4～1989.6)

教育・指導業績

(1) 博士論文

学位取得者	論文題名	年度
John Muoki Mativo	Prediction of the moment-rotation behavior of semirigid bolted connections	2007.3
池田 学	鉄道橋の制振および免震システムの適用性と高性能化に関する研究	2014.3
山崎智之	送電用鉄塔の基礎不同変位に対する耐荷力評価と改修に関する研究	2015.9
Nguyen Xuan Tung	Evaluation the corrosion state of gusset plate connections on steel truss bridge and corrosion inspection recommendations	2015.9

(2) 修士論文

学位取得者	論文題名	年度
西出 大 齋藤一則 柴田晃一 松原拓朗	簡易モデルを用いた吊橋主塔の耐荷力挙動に関する研究 超長大吊橋の終局挙動に着目した安全率の合理化に関する研究 長大斜張橋の耐荷力評価法の精度比較と座屈照査法に関する研究 半剛結ばねを有する鋼ラーメン構造の非線形挙動に関する研究	1999
深谷 力 渡辺泰孝 仲西竜伸	長大吊橋 RC 主塔のモデル化と面外終局強度特性に関する基礎的研究 E_f 法と弾塑性有限変位解析による斜張橋の終局強度特性に関する研究 超長大吊橋の終局強度に着目した合理的な安全率のバランス化に関する研究	2000
小栗友紀	既設鋼構造部材の腐食減厚に伴う残存耐荷性能とその評価法に関する研究	2001
深谷道夫 鶴鷹 誠	合理化 2 主桁橋の架設時横座屈特性に関する研究 長大吊橋 RC 主塔の橋軸方向面内の弾塑性挙動に関する基礎的研究	2002
秋本泰治	塔高を中央径間長の 1/10 とした鋼製斜張橋の終局強度特性に関する研究	2003
塚田祥久 染谷厚徳	腐食損傷部材の腐食形状と曲げ残存耐荷力に関する研究 4 径間超長大吊橋の終局強度特性と主塔の合理化に関する研究	2004
安達弘展	FEM による鋼・コンクリート接合部の非線形挙動に関する研究	2005
古澤智章 若林孝行 村上真也 宮下健治	長大吊橋主塔の橋軸方向面内における弾塑性挙動と耐荷力 腐食した圧縮部材の残存耐荷力評価法の開発 塔高を中央径間長の 1/5 および 1/10 とした鋼製斜張橋の終局強度特性に関する研究 鉛直局部荷重を受ける合理化桁腹板のクリッピングとその補強方法	2006
大久保亜衣	4 径間超長大吊橋の弾塑性挙動および終局強度特性に関する研究	2007
松原秀和 園部裕也	4 径間超長大吊橋の複合主塔における橋軸方向面内の耐荷力特性に関する研究 厳しい腐食環境下にある鋼橋部材の残存耐荷性能評価に関する研究	2008
川島 優 吉田直樹	局所荷重を受ける合成桁腹板の座屈安全性とその少佐法に関する研究 中央径間長 200m,400m,600m を有する低塔斜張橋の終局強度評価とその適用性	2009

学位取得者	論文題名	年度
中島寛文 井尾伸太郎 小山剛志	圧延形鋼を用いた既設鋼桁橋の振動計測と構造解析モデルの構築に関する研究 5 径間長大吊橋の弾塑性挙動と終局強度特性に関する研究 リベット接合部のすきま腐食計測とその状態評価に関する研究	2010
小峰翔一 判 徹也 佐久間圭吾	模擬腐食を導入した箱断面圧縮部材の残存耐力に関する研究 ライズ比の異なる 4 径間超長大吊橋の耐力特性に関する比較研究 4 径間超長大橋における鋼製および複合主塔の橋軸方向面内の耐力特性に関する研究	2011
山本 憲 山下洋平 田中周平	鋼トラス橋の上弦材側格点部の腐食形状計測とその腐食形態の特徴に関する研究 高強度鋼材を用いたアーチリブの耐力特性と基準耐力曲線に関する研究 4 径間長大吊橋の主塔構造の違いによる橋軸方向面内挙動特性に関する研究	2012
石井沢磨 高橋翔平 竹内幸治	サグ比の異なる 5 径間超長大吊橋の弾塑性挙動と耐力に関する研究 鋼トラス橋の格点部および斜材の腐食形状と残存耐力に関する研究 鋼トラス橋箱断面圧縮部材の耐力特性と基準耐力曲線に関する研究	2013
栗原雅和 藤岡健祐	腐食環境下にあった既設鋼トラス橋圧縮部材の残存耐力に関する研究 中央径間長 3000 m を有する 4 径間超長大吊橋の耐力特性に関する研究	2014
岩下慎吾 関 裕太 平山武志 若山萌美	中央径間長 3000m 超長大径間吊橋の地震応答特性に関する研究 長大吊橋複合主塔の橋軸方向面内の終局強度特性とそのモデル化に関する研究 腐食損傷した格点部を有する鋼トラス橋全体系の耐力性能に関する研究 鋼製門型ラーメン橋脚隅角部の解析手法と終局強度評価に関する研究	2015

(3) 特別研究(卒業論文)

学位取得者	論文題名	年度
仲西竜伸 山口 卓 渡辺泰孝	超長大吊橋の終局強度に着目した合理的な安全率のバランス化に関する研究 超長大斜張橋の弾塑性特性と耐力評価法の精度比較 塑性化の影響を考慮した等価初期不整法による長大斜張橋の終局強度解析	1998
小栗友紀 加藤美幸 藤田将司	腐食減厚に伴う柱部材の残存耐力について 腐食減厚に伴う合成桁の残存耐力について 一部他定式斜張橋主桁の座屈照査法に関する研究	1999
首藤徳義 榊田康司 本橋康武	腐食減厚に伴う合成 I 桁の残存耐力性能について 超長大吊橋のケーブルおよびハンガーの鋼材変化に伴う耐力への影響 連続合成桁中間支点部における水平補剛材の最適取付位置について	2000
相沢太志 秋本泰治 井上 透	連続合成桁中間支点部腹板の水平補剛材の最適取付位置と剛度 一部他定式・自定式斜張橋の弾塑性挙動と終局強度特性 腐食減厚に伴う合成 I 桁の残存耐力	2001
栗山照雄 塚田祥久 大竹敏浩	連続合成桁橋中間支点部の補剛材配置と剛度が終局強度に及ぼす影響 孔食に伴う鉄道橋上路プレートガーダー端支点部の残存耐力性能 4 径間長大吊橋の弾塑性挙動についての基礎的研究	2002

学位取得者	論文題名	年度
佐々木信智 山名和枝 安達弘展	上路式プレートガーダ - 橋端支点部の腐食に伴う残存耐力 孔食に伴うはり部材の残存耐力性能について 鋼とコンクリートの付着に関するモデル化と活荷重伝達について	2003
宮下健治 若林孝行 村上真也 気仙祐輔 古澤智章	連続合成桁中間支点部における水平補剛材の最適取付位置と剛度 腐食減厚に伴う柱の残存耐力性能 自定式吊橋の終局強度特性および弾塑性挙動 塔高を中央径間長の 1/5 及び 1/10 とした鋼斜張橋の弾塑性挙動と終局強度特性 長大吊橋 RC 主塔の橋軸方向面内における弾塑性挙動と耐力	2004
大久保亜衣 中野克俊 鈴木 豪	4 径間超長大吊橋の終局強度特性と主塔剛性 腐食した鋼部材の圧縮耐力実験 低塔斜張橋の終局強度特性への Ef 法の適用性	2005
松原秀和 森田哲夫 園部裕也	長大吊橋 RC 主塔の橋軸直角方向面内の耐力特性 合成桁ずれ止めの FEM モデル化と曲げ部材の弾塑性挙動について 腐食した T 型圧縮部材の残存耐力に関する研究	2006
片倉健太郎 川嶋 優 吉田直樹	厳しい腐食環境下にあった T 型鋼部材の圧縮耐力実験 鉛直局荷重を受ける合成桁腹板の安全性照査と耐力 中央径間長 200m を有する低塔斜張橋の弾塑性挙動と終局強度特性	2007
酒井 啓 中島寛文 井尾伸太郎 小山剛志	極厚鋼板を有する鋼桁の曲げ耐力への残留応力の影響 圧延型鋼を用いた既設鋼桁橋の静的挙動特性 低塔を有する合成斜張橋の弾塑性挙動と終局強度特性 リベット接合接触部のすきま腐食形状分布評価	2008
玉置一哲 小峰翔一 判 徹也 佐久間圭吾	腐食した T 型、および I 型断面圧縮部材の残存耐力 腐食劣化したトラス橋斜材の残存耐力に関するパラメトリック解析 4 径間超長大吊橋の弾塑性挙動と終局強度特性 4 径間超長大橋の鋼製主塔における橋軸直角方向面内の耐力特性	2009
山本 憲 山下洋平 田中周平	腐食損傷により撤去した鋼トラス橋格点部の腐食形状計測 高強度鋼材を用いた箱断面圧縮部材の耐力特性 4 径間超長大吊橋の RC 構造主塔における強軸方向面内の終局強度特性	2010
石井沢磨 高橋翔平 竹内幸治	超長大 5 径間吊橋の耐力特性への高強度ケーブルの影響 鋼トラス橋格点部の腐食形状計測とその腐食形状の特徴 実橋箱断面圧縮部材の耐力特性評価と新耐力曲線に関する基礎的研究	2011
藤岡健祐 栗原雅和 今川純一 小原裕樹	超長大 4 径間吊橋の弾塑性挙動と耐力特性 鋼トラス橋の補強された下弦材側格点部の腐食量計測とその特徴 長大吊橋複合主塔の橋軸直角方向面内の終局強度特性 鋼トラス橋の実腐食および模擬腐食を導入した圧縮部材の残存耐力特性	2012
岩下慎吾 関 裕太 平山武志 若山萌美	中央径間長 3000m 超長大吊橋の耐力特性 長大吊橋複合主塔の橋軸方向面内の終局強度特性 腐食した格点部を有する鋼トラス橋全体の耐力性能 鋼製橋脚隅角部の応力特性および終局強度評価	2013

学位取得者	論文題名	年度
松本祥吾	腐食した上路プレートガーダー橋の桁端支点部の腐食形態と残存耐力	2014
宮崎雄祐	連続合成鈹桁橋の構造解析における高度解析手法の適応性	
片桐愛理	鋼箱形断面圧縮部材の連成座屈強度評価に関する検討	
小沢武仁	サグ比の異なる5径間超超大吊橋における弾塑性挙動と終局強度特性	
中田祐利花	腐食した鋼鉄道リベット桁支点部の載荷試験および解析	2015
井上恭輔	模擬腐食を導入した鋼トラス橋圧縮部材の残存耐力	
鵜池政行	鋼箱形補剛断面を有する圧縮部材の連成座屈強度	
西優美子	鋼製T型橋脚隅角部の応力評価と高度解析手法の適用性	